

# 消 防 年 報

令和 4 年版

(令和 5 年刊行)



制服用エンブレム (平成 1 7 年制定)

# 江田島市消防本部

## は し が き

この年報は、江田島市における消防現勢及び令和4年度中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するため編集したものであります。

資料統計は令和4年3月末日をもって収録し、一部これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載する年月日で表しています。（「令和4年中」という表記は、令和4年1月初日から令和4年12月末日を表します。）

令和5年6月 江田島市消防本部

### 概 況

1	江田島市消防本部の概況	1
2	面積・世帯数及び人口	1
3	江田島市消防本部・消防署・出張所の配置図	2
4	消防の沿革	3
5	歴代の各役職	9

### 総務関係

1	江田島市消防本部組織図	13
2	消防本部事務分掌	14
3	消防庁舎等の現況	17
4	消防相互応援協定の締結状況	17
5	予算	18
6	消防職員の現況	19
7	教養	21
8	職員の公務災害	22
9	職員の特殊技能状況	23

## 予防関係

1	防火対象物の現況	24
2	建築同意事務	25
3	中高層建築物の状況	28
4	危険物	29
5	査察	32
6	火薬	33
7	高圧ガス	34
8	申請・届出	35
9	広報関係	39
10	民間防火組織の現況	41

## 警防関係

1	消防装備	42
2	水利施設	45
3	主な災害の状況	46

## 火災統計

1	年別火災発生状況	52
2	地区別火災発生状況	53
3	月別火災件数	54
4	出火原因別火災件数	54
5	時間別火災発生状況	55
6	火災統計各図	56

## 救急・救助統計

1	救急出動件数及び搬送人員	57
2	月別救急出動件数及び搬送人員	58
3	曜日別救急出動件数及び搬送人員	59
4	時間別救急出動件数及び搬送人員	60
5	年齢区分別搬送人員	61
6	傷病程度別搬送人員	61
7	傷病程度・年齢区分別搬送人員	62
8	現場到着所要時間別出動件数	62
9	病院収容所要時間別搬送人員	63
10	救急隊員の行った応急処置	63
11	年別救急出動及び搬送人員	64
12	救急隊別出動件数及び搬送人員	64
13	救急応援活動の地区別出動件数	65
14	救急応援活動の出動件数	65

15	ドクターヘリ要請件数及び搬送件数	66
16	普通救命講習の実施状況	66
17	救助出動状況	67
18	救助統計図	68

## 指令関係

1	通信施設の概況	69
2	119番受信状況	70
3	覚知別災害受信件数	70
4	出動指令区分	70
5	月別災害119番受信件数	71
6	曜日別災害119番受信件数	71
7	時間別災害119番受信件数	71
8	無線在籍表	72

## 消防団関係

1	消防団の沿革	73
2	江田島市消防団組織図	76
3	消防団長・方面隊長	76
4	階級別団員数	77
5	消防団員退職・新任状況	77
6	団員の在職年数	78
7	団員の年齢構成	79
8	消防団の定員と報酬	79

## 【概況】

### 1. 江田島市消防本部の概況

広島県南西の広島湾に浮ぶ江田島、能美島とその周辺に点在する島々で構成される。広島市からは海上約7.5kmの位置にあり、呉市とは早瀬大橋により結ばれ、実質的には陸続きとなっている。

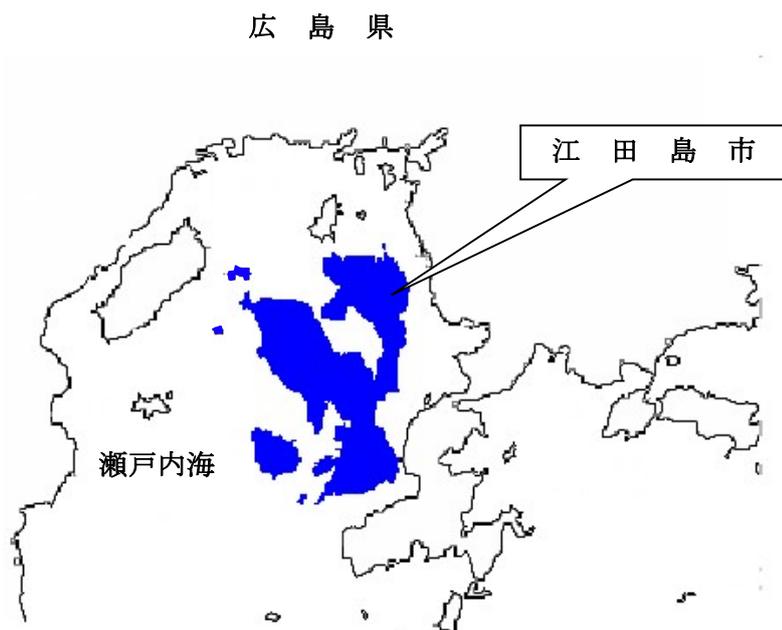
平成元年4月1日に江能広域行政事務組合と江能水道企業団が合併し、江能広域事務組合を設置、住民の生活水準のより一層の向上と地域の経済力の培養を目指し住民福祉の向上を推進した。

平成6年10月1日には音戸消防署及び倉橋出張所が消防・救急業務を開始し常備消防体制の整備を図るとともに、活力に富んだ住みよい地域づくりに努め、本組合の広域的かつ一体的な発展を遂げた。

平成16年11月1日に、江田島町・能美町・沖美町・大柿町が合併し、江田島市を発足させた事により、当消防本部の名称も江田島市消防本部として新たなスタートを切った。

それに伴い、それまで管轄していた音戸町・倉橋町は呉市管轄となり、職員の分割を余儀なくされ、当消防本部職員46名が呉市へ移籍することとなった。

消防事務が6町から4町へ移行し、市民の立場に立った行政サービスの提供及び市民の目線に沿った消防行政を心掛け、円滑な消防業務の運営に努めている。

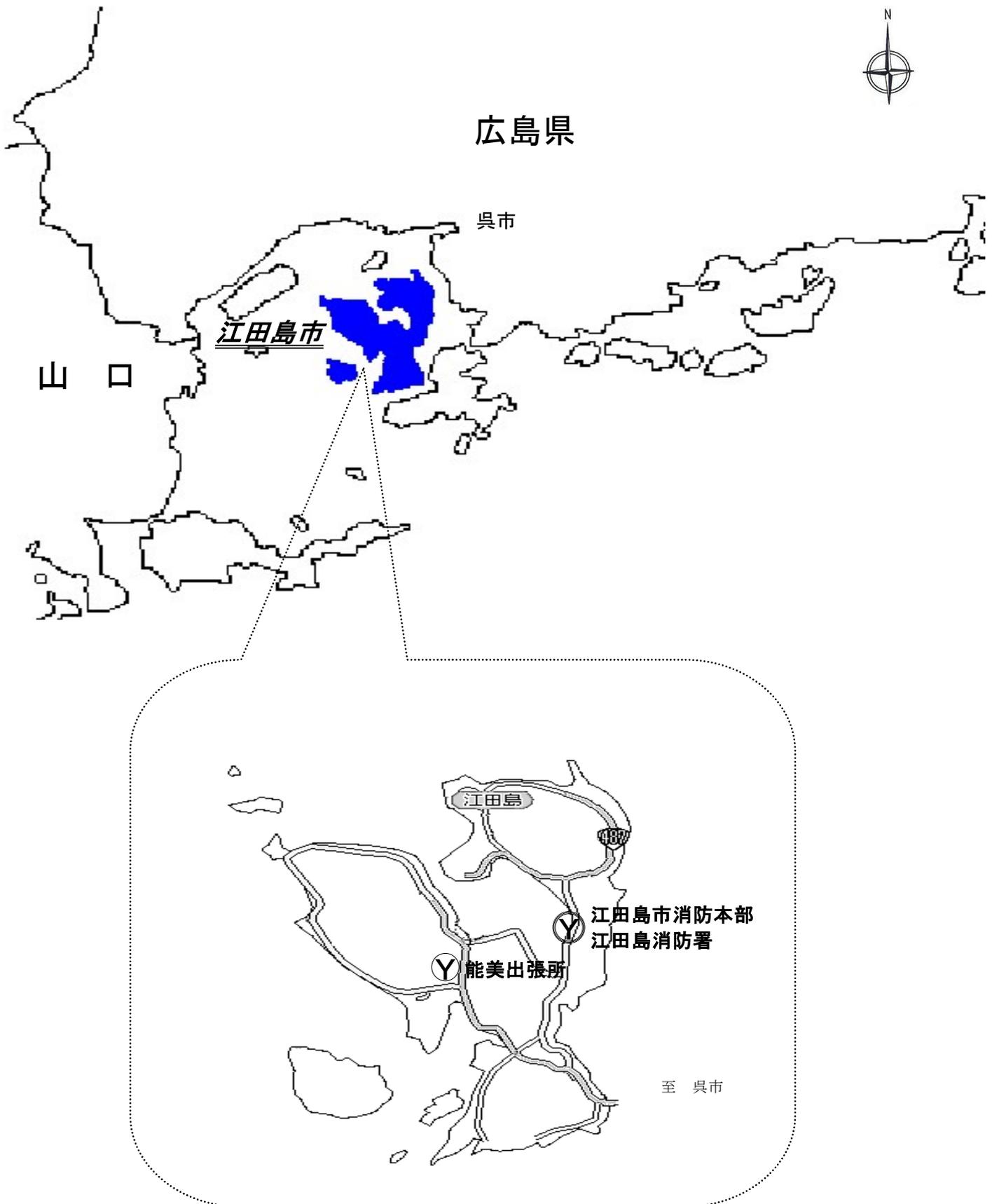


### 2. 面積・世帯数及び人口

(令和5年4月1日現在)

面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人口 (人)
100.72	11,644	20,955

### 3. 江田島市消防本部・消防署・出張所の配置図



#### 4. 消防の沿革

- 昭和48年 4月 江能広域行政事務組合の設立により、江能広域消防本部発足  
7月 財団法人日本消防協会から指揮車兼広報車の寄贈を受ける  
8月 財団法人日本消防協会から救急車の寄贈を受ける  
9月 職員8名増員  
10月 江能広域消防署発足、消防・救急業務開始（仮庁舎旧江田島町立鷺部小学校）、  
職員5名増員  
11月 広島市及び呉市と救急業務協定を締結  
消防ポンプ自動車2台購入
- 昭和49年 3月 消防無線電話設備設置完了（基地局2・移動局4）  
4月 職員11名増員  
7月 鹿川出張所庁舎完成（佐伯郡能美町鹿川1275の3）  
消防救急指令装置設置  
8月 消防本部、消防署庁舎完成（江田島町鷺部689の25）  
9月 消防救急一斉指令装置設備119番緊急電話一斉切替完了、無線電話設備移  
設完了  
消防ポンプ自動車1台購入  
10月 新庁舎に江能広域消防署開署、職員7名増員、  
鹿川出張所開所、無線基地局開局、消防無線電話移動局1基整備  
12月 職員3名増員  
小型動力ポンプ1台購入
- 昭和50年 4月 職員4名増員  
日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備、救急業務を開始  
5月 日本損害保険協会より中型消防ポンプ自動車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備  
8月 職員2名増員  
10月 江能広域危険物安全協会発足
- 昭和51年 2月 小型動力ポンプ積載車2台購入、本署1台、鹿川出張所1台配備  
4月 職員4名増員  
6月 財団法人日本消防協会より広報車の寄贈を受ける  
7月 石油コンビナート等災害防止法制定施行に伴い、江田島地区及び能美地区が特別  
防災区域に指定される  
12月 職員3名増員
- 昭和52年 3月 大型化学消防車購入  
4月 職員7名増員  
11月 職員5名増員  
在日米陸軍司令部との消防相互援助協約締結
- 昭和53年 3月 本署石油コンビナート用消防車車庫完成、屋上に泡原液備蓄タンク（5,000  
リットル）設置、大型高所放水車購入  
8月 防災無線設置完了  
11月 広島海上保安部と消防業務協定締結・呉海上保安部と消防業務協定締結

昭和54年	3月	泡原液搬送車購入
	4月	職員2名増員
	10月	職員6名増員
昭和55年	3月	救急車購入, 鹿川出張所へ配備
	7月	指揮車購入, 本部へ配備
昭和56年	2月	非常用消防救急指令装置補助盤1台及び録音機2台設置
	3月	鹿川出張所コンビナート用車庫(71㎡)泡原液備蓄タンク(5,000リットル)大型消防車用橋梁(15トン)完成 鹿川出張所仮眠室及び事務室改築工事完成 救急車購入, 本署へ配備
昭和57年	3月	消防ポンプ自動車2台購入, 本署1台, 鹿川出張所1台配備 消防庁長官表彰として, 竿頭綬を授与される
	12月	消防専用無線中継所工事完成(大柿町陀峯山山頂) 指揮(広報)車購入, 本部へ配備
昭和58年	5月	特別潜水隊設置, 潜水器具8セット購入, 本署へ配備
	10月	大型高所放水車分解整備完了
昭和59年	1月	コンプレッサー1基購入, 本署へ配備
昭和60年	3月	査察車購入, 本署へ配備
	9月	小型動力ポンプ積載車2台購入・本署1台, 鹿川出張所1台配備
昭和61年	3月	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備 消防ポンプ自動車1台購入, 本署へ配備
	6月	指揮車購入, 本部へ配置
昭和62年	2月	消防救急指令装置導入(更新)
	3月	救急車購入, 本署へ配備 消防ポンプ自動車1台購入, 鹿川出張所へ配備
	9月	広島県内広域消防相互応援協定締結
昭和63年	3月	救急波整備 消防救助訓練塔建設
平成元年	3月	救助工作車購入, 本署へ配備
	4月	江能広域行政事務組合と江能水道企業団の合併統合により江能広域事務組合を設立 職員2名採用 鹿川出張所を分署に昇格
平成2年	3月	広島県内航空消防応援協定締結
	4月	職員2名採用
	7月	指揮車更新整備, 本署へ配備
	11月	職員2名採用
	12月	同栄社共済連合会より救急車の寄贈を受け鹿川分署へ配備
平成3年	4月	江能広域事務組合事務局へ1名出向 職員1名採用 広島県消防学校へ教官として1名派遣

	10月	江能広域事務組合事務局へ1名出向
平成4年	4月	職員定数1名増となり、定数70名 職員2名採用
平成5年	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任
	4月	職員定数2名増となり、定数72名 職員2名採用
平成6年	2月	指揮統制車購入、本部へ配備
	3月	高規格救急車購入、本署へ配備
	4月	音戸町・倉橋町が江能広域事務組合に加入し（消防事務のみ）6町となる 職員定数47名増、定数119名 職員採用46名
	8月	音戸消防署、倉橋出張所開設準備室を開設 指揮車購入、音戸消防署開設準備室へ配備 職員2名採用
	9月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車寄贈、音戸消防署開設準備室配備 消防専用無線中継所工事完成（倉橋町宇和木峠）
	10月	音戸消防署・倉橋出張所開署、消防救急業務開始 職員1名採用 本部指令室、江能消防署救急消毒室改修
	11月	職員2名採用
	12月	高規格救急車購入、音戸消防署へ配備
平成7年	1月	小型動力ポンプ積載車2台購入、音戸消防署・倉橋出張所へ配備 阪神・淡路大震災へ応援隊を派遣（1～3次・総員24名）
	2月	消防ポンプ自動車2台購入、音戸消防署・倉橋出張所へ配備
	3月	救助工作車購入、音戸消防署へ配備
平成8年	8月	職員1名採用
	12月	資機材搬送車購入、本部へ配備
平成9年	4月	職員1名採用
平成10年	2月	大型化学消防車更新整備、鹿川出張所へ配備
	10月	救急車更新、鹿川出張所へ配備 消防本部庁舎耐震補強工事完了
平成11年	1月	消防無線中継所更新（陀峯山山頂）
	7月	事務連絡車購入、本部へ配備
	9月	指揮車更新整備、本部へ配備
	10月	鹿川出張所救急消毒室設置
平成12年	3月	消防本部庁舎保安用発電機設置 消防無線県内共通波（基地局）更新
	4月	職員1名採用
	7月	広報車（人員搬送車）更新整備、本部へ配備
	9月	救急車更新、倉橋出張所へ配備
	11月	職員1名採用

平成13年	3月	はしご付大型高所放水車更新整備
平成14年	2月	小型動力ポンプ積載車更新整備，江能消防署へ配備
	3月	泡原液搬送車更新整備，江能消防署へ配備
	4月	職員3名採用
	7月	指揮車更新整備，本部へ配備
	12月	小型動力ポンプ積載車更新整備，鹿川出張所へ配備
平成15年	1月	職員1名採用
	3月	消防ポンプ車更新整備，鹿川出張所へ配備
	4月	広島県消防学校へ教官として1名派遣
	6月	広報車更新整備，江能消防署へ配備
平成16年	2月	高規格救急車更新整備，江能消防署へ配備
	4月	職員3名採用
	11月	江田島市合併に伴い江能広域消防本部解散 呉市が音戸町及び倉橋町を管轄，それに伴い職員46名が呉市へ移籍 江田島市消防本部発足 職員定数44名減，定数75名，市からの出向3名 江能消防署を江田島消防署，鹿川出張所を能美出張所へそれぞれ名称変更 本部に消防防災室新設，指令課を通信指令室へと機構改正 新潟県中越地震による被災地に職員を派遣
	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任 消防訓練塔新設
	4月	職員1名欠員 江田島市と海上自衛隊1術科学校・呉弾薬整備補給所・呉造修補給所貯油所支所との災害の際における活動覚書を締結
平成17年	8月	江田島市と広島海上保安部及び呉海上保安部との消防業務協定締結
	12月	江田島市と在日米陸軍基地管理隊との消防相互援助協約の締結
	平成18年	2月
平成18年	3月	消防本部増築，高機能指令センター設置・運用開始 消防ポンプ自動車整備，江田島消防署へ配備
	4月	職員1名採用，職員3名江田島市へ出向，職員1名広島県へ派遣， 消防防災室及び通信指令室廃止。本部総務課へ消防団係，本部警防課へ通信指令係を移管
	10月	輸送車整備，江田島消防署へ配備
	12月	ダイユウ技研土木（株）より高規格救急車の寄贈を受け能美出張所へ配備
	平成19年	4月
平成20年	3月	救助工作車更新整備，江田島消防署へ配備 広島県への派遣職員1名帰任
	4月	職員2名採用
平成21年	4月	職員2名採用
平成22年	3月	指揮統制車更新整備，本部へ配備

		消防ポンプ車，高規格救急車更新整備，江田島消防署へ配備
	4月	職員3名採用，職員2名江田島市へ出向，市からの出向1名
	6月	消防訓練塔増設
平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣（1次から5次隊・総員30名）
	4月	職員5名採用（内2名女性職員を初採用），職員2名江田島市へ出向
	8月	女性職員用仮眠室整備 株式会社広島ホームテレビから陀峯山局舎の寄附を受ける
平成24年	4月	職員4名採用，職員2名江田島市へ出向
平成25年	4月	職員5名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣
	9月	本署仮眠室の個室化
	12月	軽救急車新規整備，能美出張所へ配備
平成26年	4月	職員5名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣
	5月	ミニホイローダー整備，江田島消防署へ配備
	8月	広島県内広域相互応援協定に基づく広島市大規模土砂災害への災害派遣 （1次から10次隊・総員60名）
	10月	簡易ヘリポート整備事業 市内10箇所広島ドクターヘリCSへ申請
	11月	（一財）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受け能美出張所へ配備
平成27年	4月	職員4名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣
平成28年	2月	軽救急車新規整備，江田島消防署へ配備
	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任 消防救急デジタル無線整備・運用開始
	4月	職員5名採用（内1名女性職員を採用），職員2名江田島市へ出向
	5月	職員1名江田島市へ出向
	7月	職員1名採用
平成29年	2月	指揮車更新整備，江田島消防署へ配備
	4月	職員2名採用，職員3名江田島市へ出向，職員1名再任用
	7月	7月九州北部豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣（1次から5次隊・総員26名）
平成30年	2月	大型化学高所放水車整備，能美出張所へ配備
	4月	職員2名採用（内1名女性職員を採用），職員2名江田島市へ出向， 職員3名再任用
	6月	職員定数75名から67名へ
	10月	消防本部とヒラタコーポレーション株式会社江能サービスステーションとの間で，災害時における消防車両への燃料供給に関する協定を締結
	11月	（一社）安芸地区医師会より寄附を受け，高規格救急車を江田島消防署へ配備
平成31年	4月	職員3名採用（内1名女性職員を採用），職員2名江田島市へ出向 職員4名再任用
令和元年	7月	能美出張所新庁舎完成（能美町鹿川1263番地1）
	8月	能美出張所新庁舎運用開始
	10月	消防本部（消防署）新庁舎完成（江田島町鷺部二丁目17番5号）
令和2年	2月	消防本部（消防署）新庁舎運用開始
	3月	高機能指令センターを更新

- 4月 職員2名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣，職員3名再任用
- 12月 高規格救急車更新整備，江田島消防署へ配備
- 令和3年 4月 職員3名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣，職員1名再任用
- 令和4年 3月 消防ポンプ車整備，能美出張所へ配備
- 4月 職員2名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校へ派遣，職員1名再任用
- 令和5年 4月 職員3名採用，職員2名江田島市へ出向，職員1名広島県消防学校から帰任，職員1名再任用

## 5. 歴代の各役職

### (1) 歴代組合管理者及び理事長

歴代	氏名	在職期間	備考
管理者	岡村武男	自昭和48年4月1日至昭和50年1月2日	江田島町長
2代	山中淳	自昭和50年3月8日至昭和63年12月31日	江田島町長
3代	二井利美	自平成元年1月30日至平成元年3月31日	江田島町長
理事長	二井利美	自平成元年4月1日至平成4年1月21日	江田島町長
2代	二井利美	自平成4年1月22日至平成7年6月7日	江田島町長
3代	平口武	自平成7年6月8日至平成16年10月31日	大柿町長

※江田島市発足に伴い組合解散

### (2) 歴代市長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	曾根薫	自平成16年11月1日至平成20年11月30日	
2代	田中達美	自平成20年12月1日至平成28年12月4日	
3代	明岳周作	自平成28年12月5日 令和5年4月1日 現在	

### (3) 歴代組合議会議長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	江口昭三	自昭和48年4月1日至昭和54年6月18日	大柿町議会議長
2代	池田政登	自昭和54年7月28日至昭和54年12月16日	能美町議会議長
3代	石河内儀晴	自昭和55年3月10日至昭和56年3月24日	沖美町議会議長
4代	江口辰水	自昭和56年3月24日至昭和58年6月18日	大柿町議会議長
5代	江口昭三	自昭和58年7月12日至平成14年11月29日	大柿町議会議長
6代	道口昭信	自平成14年12月25日至平成15年5月8日	江田島町議会議長
7代	伊藤富美雄	自平成15年7月25日至平成16年10月31日	江田島町議会議長

※江田島市発足に伴い組合解散

#### (4) 歴代江田島市議会議長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	田中達美	自平成16年11月1日至平成20年11月16日	
2代	上田正	自平成20年11月28日至平成25年10月30日	
3代	山根啓志	自平成25年11月12日至平成29年6月1日	
4代	林久光	自平成29年11月1日至令和元年10月28日	
5代	吉野伸康	自令和3年11月1日 令和5年4月1日 現在	

#### (5) 歴代江能広域消防本部消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	三村政則	自昭和48年4月1日至昭和53年4月27日	
2代	山中淳	自昭和53年5月4日至昭和53年9月14日	事務取り扱い
3代	岡田明正	自昭和53年9月15日至昭和57年3月31日	広島市消防局より派遣
4代	小野勲	自昭和57年4月1日至昭和59年3月31日	広島市消防局より派遣
5代	川近一郎	自昭和59年4月1日至昭和61年3月31日	広島市消防局より派遣
6代	馬場治幸	自昭和61年4月1日至昭和63年3月31日	広島市消防局より派遣
7代	荒田茂夫	自昭和63年4月1日至平成元年3月31日	広島市消防局より派遣
8代	内土井就雄	自平成元年4月1日至平成3年3月31日	
9代	山口信武	自平成3年4月1日至平成9年3月31日	
10代	山下潔	自平成9年4月1日至平成16年3月31日	
11代	小跡孝廣	自平成16年4月1日至平成16年10月31日	

※江田島市発足に伴い広域消防解散

#### (6) 歴代江田島市消防本部消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	小跡孝廣	自平成16年11月1日至平成21年3月31日	
2代	岡野数正	自平成21年4月1日至平成26年3月31日	
3代	小林勉	自平成26年4月1日至平成28年3月31日	広島市消防局より派遣
4代	丸石正男	自平成28年4月1日 令和5年4月1日 現在	

## (7) 歴代江能広域消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	三村政則	自昭和48年10月1日至昭和53年3月31日	
2代	山下 潔	自昭和53年4月1日至昭和60年6月30日	
3代	山口信武	自昭和60年7月1日至平成元年3月31日	
4代	山下 潔	自平成元年4月1日至平成6年7月31日	
5代	小沢農人	自平成6年8月1日至平成6年9月30日	

※音戸町・倉橋町の組合加入に伴い名称変更

## (8) 歴代江能消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	小沢農人	自平成6年10月1日至平成9年3月31日	
2代	加藤卓蔵	自平成9年4月1日至平成11年3月31日	
3代	小跡孝廣	自平成11年4月1日至平成14年3月31日	
4代	石上 忠	自平成14年4月1日至平成16年10月31日	

※江田島市発足に伴い名称変更

## (9) 歴代江田島消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	石上 忠	自平成16年11月1日至平成20年3月31日	
2代	大年正光	自平成20年4月1日至平成21年3月31日	
3代	坂口俊治	自平成21年4月1日至平成25年3月31日	
4代	空 裕二	自平成25年4月1日至平成26年3月31日	
5代	丸石正男	自平成26年4月1日至平成28年3月31日	次長事務取扱
6代	木坂 武	自平成28年4月1日至平成31年3月31日	次長事務取扱
7代	杉本敏久	自平成31年4月1日至令和3年3月31日	次長事務取扱
8代	平本裕司	自令和3年4月1日至令和4年3月31日	
9代	香川邦彦	自令和4年4月1日至令和5年3月31日	
10代	米田尋幸	自令和5年4月1日 令和5年4月1日現在	

(10) 歴代音戸消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	小跡孝廣	自平成6年10月1日至平成11年3月31日	
2代	岡野数正	自平成11年4月1日至平成14年3月31日	
3代	空勝二	自平成14年4月1日至平成16年3月31日	
4代	加藤卓蔵	自平成16年4月1日至平成16年10月31日	

※平成16年11月1日付で呉市へ移管

## 【総務関係】

### 1. 江田島市消防本部組織図

市長

副市長

## 江田島市消防本部

消防長

総務課

総務係

消防団係

予防課

予防係

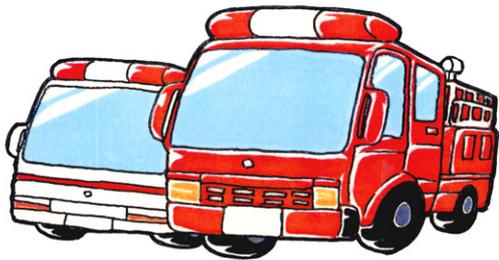
指導係

警防課

警防係

救急係

通信指令係



## 江田島消防署

署長

副署長

第1・2警防係

第1・2消防係

第1・2救急係

## 能美出張所

出張所長

第1・2警防係

## 2. 消防本部事務分掌

### 総務課

#### 総務係

- ・ 条例，規則等の制定及び改廃に関する事。
- ・ 消防の総合的企画に関する事。
- ・ 消防相互応援協定に関する事。
- ・ 表彰に関する事。
- ・ 職員の任免，分限，懲戒服務その他身分に関する事。
- ・ 職員の勤務成績の評定に関する事。
- ・ 職員の定数及び配置に関する事。
- ・ 職員の勤務時間その他勤務条件に関する事。
- ・ 職員の保健衛生及び福利厚生に関する事。
- ・ 公務災害に関する事。
- ・ 事務処理の調整に関する事。
- ・ 服務，事務等の監察に関する事。
- ・ 文書の收受，編さん及び保存に関する事。
- ・ 事務改善に関する事。
- ・ 職員の教養に関する事。
- ・ 寄附金及び寄附物品の受領に関する事。
- ・ 庁舎及びその構内取締りに関する事。
- ・ 公印の管守に関する事。
- ・ 共済組合に関する事。
- ・ 財産の取得，維持管理及び処分に関する事。
- ・ 予算，決算及び経理に関する事。
- ・ 予算の執行及び調整に関する事。
- ・ 手数料その他諸収入及び支払に関する事。
- ・ 補助及び起債に関する事。
- ・ 被服及び貸与品並びに給与品の調達及び支給に関する事。
- ・ 物品の購入出納保管及び処分に関する事。
- ・ 職員の給与，諸手当に関する事。
- ・ 書庫の管理に関する事。
- ・ 建物及び工作物の営繕に関する事。
- ・ 課の庶務に関する事。
- ・ 他の課及び係に属さない事。

#### 消防団係

- ・ 消防団員の身分に関する事。
- ・ 報告，通報及び連絡に関する事。
- ・ 教養及び訓練に関する事。
- ・ 消防団の組織及び定員に関する事。
- ・ 会計及び経理に関する事。
- ・ 設備，資機材その他物品の管理に関する事。
- ・ その他必要な事項に関する事。

## 予防課

### 予防係

- ・火災予防対策及び防火指導に関すること。
- ・防火管理者の講習及び育成指導に関すること。
- ・建築許可等の同意に関すること。
- ・建築物の中間検査及び完成検査に関すること。
- ・消防用設備等の検査に関すること。
- ・消防用設備等の各種届出及び報告の受理に関すること。
- ・火災予防の相談に関すること。
- ・火災予防行事に関すること。
- ・火災予防資料の収集及び統計に関すること。
- ・消防設備士等の育成指導に関すること。
- ・少年消防クラブ等の育成指導に関すること。
- ・消防広報，広聴に関すること。
- ・消防機関紙の編集発行に関すること。
- ・広報計画に関すること。
- ・広報資料媒体等の作成及びこれによる啓もう宣伝に関すること。
- ・街頭広報の企画及び推進に関すること。
- ・広報用資器材の運用管理に関すること。
- ・風俗営業施設，浴場等の営業許可の意見書に関すること。
- ・防災処理に関すること。
- ・課の庶務に関すること。

### 指導係

- ・査察計画に関すること。
- ・防火対象物の予防査察及び防火診断に関すること。
- ・危険物製造所等及び特殊施設の予防査察に関すること。
- ・屋外における予防査察及び取締りに関すること。
- ・高圧ガス関係施設及び火薬類を消費する場所等の立入検査に関すること。
- ・特定防火対象物の表示公表に関する事務。
- ・防火対象物，危険物製造所等，少量危険物取扱所及び指定可燃物取扱所の違反処理に関すること。
- ・防火対象物及び危険物製造所等の消防計画等の作成指導及び訓練指導に関すること。
- ・その他防火対象物及び関係団体に対する防火管理指導に関すること。
- ・査察技術の研究及び指導に関すること。
- ・危険物製造所等の許認可及び検査に関する事務。
- ・危険物製造所等の火災予防対策及び調査研究に関すること。
- ・液化石油ガス施設等の指導に関すること。
- ・液化石油ガス設備工事等の届出の受理に関すること。
- ・少量危険物及び指定可燃物等の火災予防措置に関すること。
- ・危険物取扱者等の育成指導に関すること。
- ・危険物等の試験及び研究に関すること。
- ・液化石油ガスの貯蔵施設等の設置の許可に係る意見書に関すること。
- ・危険物製造所等許可施設の県公安委員会への通報に関すること。
- ・危険物流出等の事故に係る原因調査及びその指導調整に関すること。

## 警防課

### 警防係

- ・ 警防業務の計画策定に関する事。
- ・ 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- ・ 消防訓練の研究、調査及び指導に関する事。
- ・ 警防計画の作成に関する事。
- ・ 消防に関する地理水利に関する事。
- ・ 火災原因及び損害の調査に関する事。
- ・ 火災証明に関する事。
- ・ 災害対策検討会の開催に関する事。
- ・ 警防業務の統計に関する事。
- ・ 消防団との連絡協調に関する事。
- ・ 大量油流出対策に関する事。
- ・ 宅地造成及び危険箇所の防御対策に関する事。
- ・ 水防活動計画に関する事。
- ・ 水防資材に関する事。
- ・ 消防車両等の維持管理及び運用に関する事。
- ・ 消防機械器具の維持管理及び運用に関する事。
- ・ 機関員の育成指導に関する事。
- ・ 安全管理に関する事。
- ・ 救助対策に関する事。
- ・ 救助技術の研究、指導及び訓練に関する事。
- ・ 救助資器材等に関する事。
- ・ 救助詳報及び救助統計に関する事。
- ・ 課の庶務に関する事。

### 救急係

- ・ 救急対策に関する事。
- ・ 救急技術の研究、指導及び訓練に関する事。
- ・ 救急資器材等に関する事。
- ・ 救急詳報及び救急統計に関する事。
- ・ 救急医療機関等との連携に関する事。
- ・ 応急手当の普及啓発に関する事。
- ・ 救急証明に関する事。
- ・ 高圧ガス施設の維持管理に関する事。
- ・ 安全管理に関する事。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、救急業務に関する事。

### 通信指令係

- ・ 有線無線の運用及び管理に関する事。
- ・ 通信統制及び通信用語に関する事。
- ・ 通信技術の指導及び訓練に関する事。
- ・ 災害その他の受報及び出動指令に関する事。
- ・ 部隊の管理及び運用に関する事。
- ・ 災害の情報収集及び記録に関する事。
- ・ 消防情報の受報及び指令に関する事。
- ・ 災害等の関係機関への情報連絡に関する事。
- ・ 非常召集に関する事。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、通信業務に関する事。

### 3. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	庁 舎 の 状 況
江田島市消防本部 江田島消防署	江田島市江田島町 鷲部二丁目17番5号	<p>本館 鉄筋コンクリート造 (2階建) 延べ面積 2,262.53 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 車庫, 仮眠室, 警備室 出動準備室, 救急消毒室 トレーニング室, 資機材庫 女性職員仮眠室</li> <li>・ 2階 消防長室, 事務室 消防団長室, 研修室, 書庫 通信指令室, 食堂</li> </ul> <p>消防訓練塔 鉄筋コンクリート造 (4階建) 延べ面積 159.11 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 迷路室</li> <li>・ 2階 火災対応訓練室</li> <li>・ 3階 引揚救助訓練室</li> <li>・ 4階 ロープ渡過訓練室</li> </ul>
江田島消防署 能美出張所	江田島市能美町 鹿川 1263 番地 1	<p>鉄筋コンクリート造(2階建) 延べ面積 741 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 車庫, 事務室, 出動準備室 仮眠室, 救急消毒室 資機材庫</li> <li>・ 2階 食堂, トレーニング室</li> </ul>

### 4. 消防相互応援協定の締結状況

協 定 の 名 称	締 結 年 月 日	協 定 先
広島県内広域消防相互応援協定	昭和 62 年 9 月 1 日	広島県内市町村・消防一部事務組合
広島県内航空消防応援協定	平成 2 年 3 月 7 日	広島市
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成 8 年 7 月 11 日	広島県
災害の際における活動覚書	平成 17 年 4 月 5 日	海上自衛隊1術科学学校・呉弾薬整備補給所
消防業務協定	平成 17 年 8 月 10 日	広島海上保安部・呉海上保安部
消防相互援助協約	平成 17 年 12 月 6 日	在日米陸軍基地管理隊

## 5. 予算

### (1) 一般会計予算における消防予算の割合

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計 予算 A (千 円)	消防予算 B (千円)	B/A × 100 (%)	市民1人当たり の消防費 (円)	市民1世帯 当たりの消 防費 (円)
5	15,080,000	644,394	4.27	30,751	55,341

### (2) 消防予算内訳

(単位：千円)

常備消防費	539,826	職員給与費	472,017
		人事管理事業費	10,035
		消防総務一般管理事業費	20,819
		庁用車管理事業費	8,615
		消防活動事業費	28,340
非常備消防費	81,386	消防団活動事業費	68,204
		消防屯所等維持管理事業費	8,033
		消防施設管理事業費	5,149
防災費	23,182	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業費	23,182
計	644,394		644,394

## 6. 消防職員の現況

### (1) 職員数の推移

(過去5年間・令和5年4月1日現在)

年度別	実員	消 防 吏 員					
		司令長	司 令	司令補	士長	副士長	消防士
令和元年	70	1	9	14	22	1	23
令和2年	68	1	9	18	18	1	21
令和3年	67	1	11	19	13	4	19
令和4年	67	1	11	19	13	6	17
令和5年	66	1	11	20	13	7	14

実員については再任用・出向者含む

### (2) 職員の配置状況

(令和5年4月1日現在)

区 分		総 数	消 防 吏 員					
			司令長	司 令	司令補	士長	副士長	消防士
実 員		66	1	11	20	13	7	14
消 防 本 部	消 防 長	1	1					
	総 務 課	5		2	2	1		
	予 防 課	4		2		2		
	警 防 課	8		3	4	1		
消 防 署	署 長	1		1				
	副 署 長	1		1				
	警 防 係	10			2	3	2	3
	消 防 係	12			3	2	2	5
	救 急 係	8			3		2	3
	出 張 所 長	1		1				
署	出 張 所 係	13			5	4	1	3
派遣等	市 役 所 校	2		1	1			

## (3) 職員の年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

区 分	総数	消 防 吏 員					
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
総 数	66	1	11	20	13	7	14
18歳以上 ～ 20歳未満	3						3
20歳以上 ～ 25歳未満	7						7
25歳以上 ～ 30歳未満	12				2	6	4
30歳以上 ～ 35歳未満	7				6	1	
35歳以上 ～ 40歳未満	6			2	4		
40歳以上 ～ 45歳未満	4			3	1		
45歳以上 ～ 50歳未満	12		4	8			
50歳以上 ～ 55歳未満	8		5	3			
55歳以上 ～ 60歳未満	6		2	4			
60歳以上 ～ 65歳未満	1	1					

平均年齢 38.5歳

## (4) 職員の勤続年数状況

(令和5年4月1日現在)

区 分	総数	消 防 吏 員					
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
総 数	66	1	11	20	13	7	14
5年未満	11						11
5年以上 ～ 10年未満	13				4	6	3
10年以上 ～ 15年未満	10			1	8	1	
15年以上 ～ 20年未満	4			3	1		
20年以上 ～ 25年未満	3		1	2			
25年以上 ～ 30年未満	17		8	9			
30年以上 ～ 35年未満	7		2	5			
35年以上	1	1					

## 7. 教 養

(過去5年間)

機 関 名	年 度 別		4	3	2	1	30	
	総 数		11	11	10	12	18	
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科							
	幹部科 (幹部研修科含む)					1	1	
	警 防 科							
	予 防 科							
	救 急 科							
	救 助 科							
	防災実務管理者コース							
	国民保護コース							
広 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育 科		3	3	2	3	2	
	専 科 教 育	警 防 科					1	
		予防査察科 (査察)					1	1
		予防査察科 (設備)		1		1		1
		危 険 物 科					1	
		火 災 調 査 科						
		救 急 科 (標準課程・Ⅱ課程含む)		3	2	2	1	3
		救 助 科		1	2	2	2	2
		特 殊 災 害 科			1			1
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科						1
		中 級 幹 部 科					1	
		上 級 幹 部 科						
	特 別 教 育	救急救命士 教育	スキルアップコース	2				1
			リーダーシップコース	1	1	1		1
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習				1		1
		現場指揮者養成教育						1
		上級救助隊員コース						1
多数傷病者訓練指導養成コース				1	1			
広 島 市 消 防 局 救 急 救 命 士 養 成 所	救 急 救 命 士 養 成 課 程			1			1	
財 団 法 人 救 急 振 興 財 団 救 急 救 命 士 九 州 研 修 所								

## 8. 職員の公務災害

(過去5年間)

区 分	負 傷 の 状 況								治 療 期 間		
	火災	水災	救急	訓練	体力 錬成	通勤 災害	その他	計	一 週 間 未 満	一ヶ月 未満	一ヶ月 以上
平成30年		1					1	2		1	1
令和元年											
令和2年				1				1			1
令和3年				1						1	
令和4年											

9. 職員の特殊技能状況

(令和5年4月1日現在)

資格別		総数	消防吏員					
			司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
実員		66	1	11	20	13	7	14
自動車 運転 免許	大型自動車	30		8	12	5	5	
	中型自動車	6				1	3	2
	中型限定自動車	16	1	2	9	4		
	準中型自動車	1						1
	普通自動車	13				1	1	11
	大型自動二輪	10	1	3	3		2	1
	普通自動二輪車	25		2	9	8	3	3
予防技術資格者（査察）		11		3	3	3	1	1
予防技術資格者（消防用設備等）		10		3	2	2	2	1
予防技術資格者（危険物）		10		2	3	4		1
足場組立て		1				1		
衛生管理者		6	1	4		1		
危険物取扱者		13	1	2	5	3	1	1
消防設備士		3		1	1	1		
小型建設機械		21		1	9	8	3	
救急標準課程修了者		43		7	11	11	6	8
救急救命士		17		2	9	2	1	3
応急手当指導員		61		10	20	13	7	11
救助課程修了者		39		9	14	8	4	4
陸上特殊無線技士		33		10	9	6	3	5
玉掛技能講習修了者		30		7	12	8	3	
小型移動式クレーン技能講習修了		29		7	11	8	3	
一級小型船舶操縦士		2			1		1	
二級小型船舶操縦士		19	1	5	8	4	1	
潜水士免許取得者		44	1	9	16	9	5	4
酸素欠乏硫化水素危険作業主任者		15		6	5	4		

# 【予防関係】

## 1 防火対象物の現況

(令和5年4月1日現在)

用 途		総 数	地 区 別			
			江田島町	能美町	沖美町	大柿町
総 数		827	348	161	115	203
1 項	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	1		1		
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	28	13	4	3	8
2 項	イ キ ャ バ レ ー 等					
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル					
	ハ 風 俗 営 業 等					
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3 項	イ 待 合 ・ 料 理 店					
	ロ 飲 食 店	37	14	6	6	11
4 項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	30	12	5		13
5 項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	23	11	5	5	2
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	127	53	24	13	37
6 項	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	15	5	2	1	7
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	12	6	1	2	3
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	17	6	3	1	7
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	1		1		
7 項	小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	28	7	6	4	11
8 項	図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	1	1		
9 項	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等					
	ロ 上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	1		1		
10 項	車 両 の 停 車 場 等	2	2			
11 項	神 社 ・ 寺 院 等	12	4	2	1	5
12 項	イ 工 場 ・ 作 業 場	154	52	51	22	29
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ					
13 項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	2	4	2	1
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫					
14 項	倉 庫	78	41	14	9	14
15 項	上 記 以 外 の 事 業 所	130	73	12	18	27
16 項	イ 複 合 用 途 ( 特 定 )	71	29	11	14	17
	ロ " ( そ の 他 )	49	17	7	14	11
17 項	重 要 文 化 財					

## 2 建築同意事務

### (1) 年度別処理状況

(過去5年間)

地区別	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	5カ年平均
総数	28	23	18	20	25	22.8
江田島町	11	17	5	14	14	12.2
能美町	2		4	1	5	2.4
沖美町		1		1	3	1
大柿町	15	5	9	4	3	7.2

### (2) 地区別・月別処理状況

(令和4年度)

地区別	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	28	3	2	2	4	1	2	3	2	2	1	6	
江田島町	11	2	1	1	1		1	2				3	
能美町	2							1	1				
沖美町													
大柿町	15	1	1	1	3	1	1		1	2	1	3	
令和3年度	23	1	5	1	2	1	2	1		3	2	2	3

## (3) 地区別建築構造及び工事種別処理状況

(令和4年度)

地区別	構造別						工事種別			
	総数	耐火	準耐火	防火	木造	その他	総数	新築	増築	その他
総数	32	6	5	1	6	14	28	26	1	1
江田島町	14	4		1	2	7	11	10	1	
能美町	2					2	2	2		
沖美町										
大柿町	16	2	5		4	5	15	14		1
令和3年度	32	4	2		8	18	23	20	2	1

## (4) 地区別処理区分状況

(令和4年度)

地区別	総数	確認許可				計画通知		その他	
		同意	不同意	同意	不同意	支障なし	支障あり	同意	不同意
総数	28	23				5			
江田島町	11	8				3			
能美町	2	2							
沖美町									
大柿町	15	13				2			
令和3年度	23	22		1					

## (5) 地区別・用途別処理状況

(令和4年度)

用 途	総 数	地 区 別				令和3年度
		江田島町	能美町	沖美町	大柿町	
総 数	32	14	2		16	33
1項	公会堂・集会場等					2
2項	キャバレー・遊技場等					
3項	料理店・飲食店等					1
4項	百貨店・マーケット等	2	1		1	1
5項	旅館・共同住宅等	1	1			4
6項	病院・福祉施設等	7	2		5	2
7項	小・中・高等学校等					
8項	図書館・博物館等					
9項	蒸気・熱気浴場等					
10項	車両の停車場等					
11項	神社・寺院等					
12項	工場・作業場等	5	2	2	1	2
13項	自動車車庫等	2			2	
14項	倉 庫	2	1		1	4
15項	上記以外の事業場	6	6			13
16項	複 合 用 途	3	1		2	
そ の 他		4			4	4
一 般 住 宅 通 知		19	8		11	21

### 3 中高層建築物の状況

(令和5年4月1日現在)

用途	総数				地区別															
					江田島町				能美町				沖美町				大柿町			
	3階	4階	5階	6階以上	3階	4階	5階	6階以上	3階	4階	5階	6階以上	3階	4階	5階	6階以上				
総数	115	44	9	3	55	29	5		25	5		2	13	5			22	5	4	1
1項	イ 劇場・映画館等																			
	ロ 公会堂・集会場	6		1		4		1		1				1						
2項	イ キャバレー等																			
	ロ 遊技場・ダンスホール																			
	ハ 風俗営業等																			
	ニ カラオケボックス等																			
3項	イ 待合・料理店																			
	ロ 飲食店	3				2				1										
4項	百貨店・マーケット等	2				1											1			
5項	イ 旅館・ホテル等		3				1			1				1						
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	26	20	3		8	15	2		13			2	2			3	3	1	
6項	イ 病院・診療所等	2	1	2	1	1	1					1					1		2	
	ロ 老人短期入所施設等	3				2											1			
	ハ 老人デイサービスセンター等			1				1												
	ニ 幼稚園・特別支援学校等																			
7項	小・中・高等学校等	9	2			3				2			1	1			3	1		
8項	図書館・博物館等																			
9項	イ 蒸気・熱気浴場等																			
	ロ 上記以外の公衆浴場																			
10項	車両の停車場等																			
11項	神社・寺院等																			
12項	イ 工場・作業場	7	1			2				2	1		2				1			
	ロ 映画・テレビスタジオ																			
13項	イ 自動車車庫・駐車場																			
	ロ 飛行機等の格納庫																			
14項	倉庫	2	1			1				1	1									
15項	上記以外の事業所	23	8	1	1	17	7				1		2				4		1	1
16項	イ 複合用途（特定）	19	5	1		9	3	1		4	1		1				5	1		
	ロ 〃（その他）	13	3		1	5	2			1		1	4	1			3			
17項	重要文化財																			

## 4 危険物

### (1) 地区別危険物製造所等の状況

(令和5年4月1日現在)

地区別	総数	製造所	貯蔵					取扱				
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般
総数	238	11	43	63	7	13	22	4	42	1	2	30
江田島町	146	11	37	41	3	5	7	4	13		1	24
能美町	43		2	21			7		8		1	4
沖美町	26		3	1	3	5	2		9	1		2
大柿町	23		1		1	3	6		12			
令和3年度	239	11	43	65	7	13	21	4	42	1	2	30

### (2) 指定数量の倍数別危険物製造所等の状況

(令和5年4月1日現在)

製造所等	総数	製造所	貯蔵					取扱				
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般
総数	238	11	43	63	7	13	22	4	42	1	2	30
5倍以下	68		8	14	3	6	17	1	5	1		13
5倍を超え 10倍以下	36	3	13	7	3			2	2			6
10 " 50 "	58	1	9	9	1	4	5	1	19			9
50 " 100 "	29	4	6	6		3			9			1
100 " 150 "	16	2	7	1					5			1
150 " 200 "	2			1					1			
200 " 1,000 "	6	1		4					1			
1,000 " 5,000 "	1			1								
5,000 " 10,000 "	0											
10,000を超える	22			20							2	

## (3) 類別危険物製造所等の状況

(令和5年4月1日現在)

類別	総数	1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類	混在
総数	238	1		2	195	13	7	20
製造所	11				1	1		9
貯蔵所	屋内	43	1	1	23	12		6
	屋外タンク	63			56		7	
	屋内タンク	7			7			
	地下タンク	13			13			
	移動タンク	22			22			
	屋外	4			4			
取扱所	給油	42			42			
	販売	1			1			
	移送	2			2			
	一般	30		1	24			5

## (4) 地区別・容量別屋外タンク貯蔵所の状況

(令和5年4月1日現在)

容量 (単位: KL)	総数	地区別			
		江田島町	能美町	沖美町	大柿町
総数	63	41	21	1	
5 未満	4	3	1		
5 以上 ~ 10 未満	11	8	3		
10 以上 ~ 50 未満	15	14		1	
50 以上 ~ 100 未満	7	6	1		
100 以上 ~ 150 未満	1	1			
150 以上 ~ 200 未満	2	1	1		
200 以上 ~ 1000 未満	2	2			
1,000 以上 ~ 5,000 未満	2		2		
5,000 以上 ~ 10,000 未満					
10,000 を超える	19	6	13		

## (5) 危険物手数料徴収状況

(過去5年間)

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総額	5,949,400	2,622,700	4,803,050	1,301,700	613,050
設置許可			104,000	85,000	33,000
変更許可	3,422,000	1,077,000	2,046,500	944,000	305,500
完成検査前検査 (水圧)					
完成検査前検査 (水張)	335,800	345,000	537,000	17,000	18,000
完成検査前検査 (基礎地盤)					
完成検査前検査 (溶接部)	515,000				
完成検査	128,000	137,500	253,750	185,500	164,750
保安検査	1,500,000	1,020,000	1,770,000		
仮使用	37,800	16,200	59,400	54,000	43,200
仮貯蔵・仮取扱	10,800	27,000	32,400	16,200	48,600

## (6) 石油コンビナート指定地区の危険物製造所等の現況

(令和5年4月1日現在)

区分	総数	江田島地区		能美地区				
		伊藤忠エネクス(株) 江田島ターミナル		鹿川ターミナル(株)				
		施設数	数量(KL)	施設数	数量(KL)	施設数	数量(KL)	
総数	35	1,024,214.82	15	74,356.42	20	949,858.40		
貯蔵所	合計	31	819,664.90	13	62,825.50	18	756,839.40	
	屋内	小計	2	19.91	1	10.51	1	9.4
		第1石油類	2	1.86	1	0.86	1	1
		第2石油類		4.30		2.10		2.2
		第3石油類		12.00		7.00		5
		第4石油類		1.75		0.55		1.2
	屋外タンク	小計	28	819,635.00	11	62,805.00	17	756,830.00
		第1石油類	28	455,995.00	11	21,200.00	17	434,795.00
		第2石油類		363,425.00		41,390.00		322,035.00
		第3石油類		215.00		215.00		
		屋外	小計	1	9.99	1	9.99	
	第2石油類		1	9.99	1	9.99		
	第4石油類							
	取扱所	合計	4	204,549.92	2	11,530.92	2	193,019.00
移送		小計	2	204,500.00	1	11,500.00	1	193,000.00
		第1石油類	2	109,500.00	1	11,500.00	1	98,000.00
		第2石油類		95,000.00				95,000.00
		第3石油類						
第4石油類								
一般		小計	2	49.92	1	30.92	1	19
		第1石油類	2		1		1	
		第2石油類						
		第3石油類		49.92		30.92		19
第4石油類								

## 5 査察

### (1) 防火対象物査察状況

(令和4年度)

用 途	対 象 数	査 察 件 数	地 区 別				
			江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	827	216	74	47	32	63	
1 項	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	1	1		1		
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	28	11	5	2	2	2
2 項	イ キ ャ バ レ ー 等						
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル						
	ハ 風 俗 営 業 等						
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等						
3 項	イ 待 合 ・ 料 理 店						
	ロ 飲 食 店	37	4	2			2
4 項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	30	17	4	4		9
5 項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	23	4	2		2	
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	127	10	3		3	4
6 項	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	15	9	4	1		4
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	12	7	6		1	
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	17	8	4	2		2
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	1	1		1		
7 項	小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	28	21	1	5	4	11
8 項	図 書 館 ・ 博 物 館 等	2					
9 項	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等						
	ロ 上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	1					
10 項	車 両 の 停 車 場 等	2					
11 項	神 社 ・ 寺 院 等	12	2		1	1	
12 項	イ 工 場 ・ 作 業 場	154	48	13	17	8	10
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ						
13 項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	2		1		1
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫						
14 項	倉 庫	78	14	4	4	1	5
15 項	上 記 以 外 の 事 業 所	130	18	12	1	1	4
16 項	イ 複 合 用 途 ( 特 定 )	71	27	10	4	6	7
	ロ 〃 ( そ の 他 )	49	12	4	3	3	2
17 項	重 要 文 化 財						

## (2) 危険物製造所等査察状況

(令和4年度)

製造所等 地区別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
対 象 数	238	11	43	63	7	13	22	4	42	1	2	30
査 察 件 数	144	11	29	38	4	4	16	2	21	1	1	17
地 区 別	江 田 島 町	98	11	24	26	2	2	7	2	9		15
	能 美 町	25		2	12			4	4		1	2
	沖 美 町	11		3		2		1	4	1		
	大 柿 町	10					2	4	4			

## 6 火薬

## (1) 火薬庫施設数

(令和5年4月1日現在)

区 分	地 区 別	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総 計		29	29			
火 薬 庫 数		28	28			
火 薬 庫 外 貯 蔵		1	1			

## (2) 火薬類消費場所

(令和5年4月1日現在)

地 区 別	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
消 費 場 所 数	4			2	2

## 7 高圧ガス

### (1) 高圧ガス施設数

(令和5年4月1日現在)

区 分	地 区 別				
	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総 計	77	36	18	9	14
第 1 種 製 造 ( 一 般 )	4	2	1	1	
第 1 種 製 造 ( L P )	2	1	1		
第 2 種 製 造 ( 一 般 )	10	5	2	1	2
第 2 種 製 造 ( 冷 凍 )	28	14	8		6
第 1 種 貯 蔵 ( 一 般 )	1	1			
第 2 種 貯 蔵 ( 一 般 )	2		1	1	
第 2 種 貯 蔵 ( L P )	1		1		
特定高圧ガス消費 (一般)	4	1	1	2	
特定高圧ガス消費 (LP)	1		1		
販 売 所 ( 一 般 )	8	5		1	2
販 売 所 ( L P )	16	7	2	3	4

## 8 申請・届出

### (1) 各種届出事務処理状況

(令和4年度)

区 分	総 数	地 区 別				令 和 3 年 度
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	936	362	179	122	273	941
消 防 用 設 備 等 計 画 書	11	2	2	2	5	12
消 防 用 設 備 等 着 工 届	37	15	2	6	14	35
消 防 用 設 備 等 設 置 届	34	13	7	4	10	31
免 除 申 請	9	1		3	5	12
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	62	30	12	5	15	75
防 火 管 理 者 選 解 任 届	39	12	5	4	18	65
消 防 計 画 書	59	19	10	4	26	59
点 検 結 果 報 告 書	415	159	72	67	117	408
防 火 対 象 物 定 期 点 検	14	5	5	1	3	27
特 例 認 定 申 請						
自 衛 消 防 訓 練 通 知	162	68	43	16	35	159
管 理 権 限 者 変 更 届	2	2				2
炉 ボ イ ラ ー 等 設 置 届	5	2	2	1		7
変 ・ 発 ・ 蓄 電 設 備 設 置 届	13	6	2		5	17
水 素 ガ ス 充 て ん 気 球 設 置 届						
圧 縮 ア セ チ レ ン 等 届	5	3	1		1	1
火 を 使 用 す る 設 備 等 廃 止 届	1	1				1
露 店 開 設 等 届	12	7	2	3		3
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	5	1	2	1	1	1
煙 火 打 揚 届	2	1			1	2
催 物 開 催 届	2		1		1	
防 管 再 交 付 申 請	2	1	1			
消 防 法 令 適 合 通 知 申 請	12	2	5	4	1	4
少 量 危 ・ 指 定 可 燃 設 置 届	4	2		1	1	7
少 量 危 ・ 指 定 可 燃 廃 止 届	1	1				3
灯 油 販 売 取 扱 者 届	4		2		2	1
液 化 石 油 ガ ス 工 事 届	2	1	1			1
特 定 液 石 工 事 事 業 者 届						
改 善 計 画 ( 完 了 ) 報 告 書	1		1			4
そ の 他	21	8	1		12	4

## (2) 危険物関係事務処理状況

(令和4年度)

区 分	総 数	地 区 別				令 和 3 年 度
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	172	106	53	2	11	176
設 置 許 可 申 請						
変 更 許 可 申 請	19	9	9		1	18
設 置 完 成 検 査 申 請						
変 更 完 成 検 査 申 請	13	9	3		1	16
完 成 検 査 前 検 査 ( 水 圧 )						
完 成 検 査 前 検 査 ( 水 張 )	3	2	1			1
完 成 検 査 前 検 査 ( 基 礎 地 盤 )						
完 成 検 査 前 検 査 ( 溶 接 部 )	1		1			
保 安 検 査 申 請	2		2			1
仮 使 用 承 認 申 請	7	5	1		1	3
仮 貯 蔵 仮 取 扱 承 認 申 請	2	1	1			5
特 例 ( 令 23 条 ) 適 用 申 請						3
予 防 規 程 認 可 申 請	3	1	2			4
保 安 監 督 者 選 解 任	19	18	1			26
保 安 統 括 管 理 者 選 解 任						
名 称 等 変 更 届	10	6	2	1	1	9
品 名 数 量 倍 数 変 更 届	10	7	3			11
譲 渡 引 渡 届						3
使 用 休 止 再 開 届	17	8	9			19
廃 止 届	2	2				1
軽 易 な 変 更 届	35	27	2	1	5	24
災 害 ( 事 故 ) 届						
火 気 使 用 工 事 届	3	3				4
改 善 計 画 ( 完 了 ) 報 告	1				1	1
コ ン ビ 関 係	9	2	7			12
そ の 他	16	6	9		1	15

## (3) 火薬類関係事務処理状況

(令和4年度)

区	分	総	計	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	令和3年度	
総	計	99		92		6	1	136	
火薬庫設置許可申請									
火薬庫変更許可申請	3			3				6	
販売営業許可申請									
火薬庫完成検査申請									
火薬庫変更完成検査申請	3			3				6	
火薬庫保安検査申請	2			2				2	
譲受消費許可申請	4			1		2	1	3	
譲渡許可申請	2			2					
譲受許可申請	3			3				2	
煙火消費許可申請	3			1		2		2	
廃棄許可申請	1			1				2	
危害予防規程認可申請									
庫外貯蔵所指示申請									
火薬庫共用許可申請	7			7				1	
貯蔵火薬類等変更届	6			6				32	
保安責任者選解任届	2			2					
安定度試験報告	37			37				51	
記載事項変更届	4			4				11	
軽易変更届	6			6				3	
廃止届									
消費数量年度報告書	4			2		2		5	
定期自主検査計画変更届	2			2				2	
定期自主検査実施結果報告	4			4				4	
その他	6			6				4	
手	数	料		236,800	200,300		29,600	6,900	311,100

## (4) 高圧ガス関係事務処理状況

(令和4年度)

区 分	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	令 和 3 年 度
総 計	27	17	8	2		23
製 造 許 可 申 請						
製造施設等変更許可申請	2	1	1			1
貯蔵所設置許可申請						
貯蔵所変更許可申請						
製造所完成検査申請						1
製造所変更完成検査申請	2	1	1			
貯蔵所完成検査申請						
貯蔵所変更完成検査申請						
保 安 検 査 申 請						
危 害 予 防 規 程 届	1		1			1
製 造 開 始 届						
製 造 事 業 届	3	3				1
二 種 貯 蔵 所 設 置 届						
販 売 事 業 届						
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届						
製 造 施 設 等 変 更 届	2	1	1			1
二 種 貯 蔵 所 位 置 等 変 更 届	1		1			
軽 微 変 更 届						1
廃 止 届	1			1		
休 止 再 開 届						
承 継 届						
保 安 統 括 者 選 解 任 届	2	2				4
保 安 技 術 者 等 選 解 任 届	2	2				3
保 安 検 査 受 験 届	5	4	1			3
保 安 検 査 記 録 届						1
保 安 検 査 結 果 報 告 届	5	3	1	1		4
事 故 報 告 届						
そ の 他	1		1			2
手 数 料	127,750	28,000	99,750			

## 9 広報関係

### (1) 消防・救急出前講座状況

(令和4年度)

講 座	総 数	地 区 別				令 和 3 年 度	
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町		
総 数	回 数	69	29	19	8	13	39
	延 人 数	2208	875	671	226	436	1,463
家 庭 , 地 域 ぐるみの火災予防	回 数	12	6	1	2	3	7
	延 人 数	407	145	7	90	165	190
職 場 で 行 う 火 災 予 防	回 数	34	15	10	3	6	19
	延 人 数	1211	573	377	36	225	693
命 を 救 う 急 手 当	回 数	15	6	6	1	2	8
	延 人 数	265	110	125	10	20	118
幼 ・ 少 年 期 の 消 防 講 座	回 数	8	2	2	2	2	5
	延 人 数	325	47	162	90	26	462

### (2) 消防・防火体験教室状況

(令和4年度)

メ ニ ュ ー 別	総 数	地 区 別				令 和 3 年 度
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	回 数	99	85	14		16
	延 人 数	929	823	106		402
家 庭 , 地 域 ぐるみの火災予防	回 数	1	1			3
	延 人 数	3	3			154
幼 ・ 少 年 期 の 消 防 講 座	回 数	5	4	1		2
	延 人 数	126	108	18		30
消 防 の 仕 事	回 数	30	25	5		
	延 人 数	171	157	14		
消 防 庁 舎 見 学	回 数	38	32	6		7
	延 人 数	296	238	58		169
職 場 で 行 う 火 災 予 防	回 数	24	22	2		2
	延 人 数	328	312	16		15
新 入 社 員 研 修 防 火	回 数	1	1			1
	延 人 数	5	5			8
やさしい日本語 消 防 研 修	回 数					1
	延 人 数					26

## (3) 広報活動実施状況

(令和4年度)

種 別	総 数	地 区 別				令 和 3 年 度	
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町		
総 数	回 数	200	123	43	15	19	73
	人 数	4203	2021	1192	355	635	2999
イ ベ ン ト 等	回 数	1	1				
	人 数	54	54				
防 火 防 災 指 導	回 数	23	9	3	5	6	10
	人 数	512	219	71	37	185	199
消 防 設 備 指 導	回 数	34	31	1	1	1	2
	人 数	497	375	8	80	34	15
避 難 訓 練	回 数	32	9	14	3	6	21
	人 数	1130	358	492	101	179	1,002
ク ラ ブ 行 事 等	回 数	17	4	6	5	2	18
	人 数	937	309	310	127	191	1,134
パ レ ー ド 等	回 数						
	人 数						
職 場 体 験 等	回 数	5	5				
	人 数	17	17				
庁 舎 見 学	回 数	57	46	11			9
	人 数	591	412	179			199
そ の 他	回 数	31	18	8	1	4	13
	人 数	465	277	132	10	46	450
街 頭 広 報	回 数	571	126	163	169	113	234
広 報 誌 等 回 数	回 数	63	広 報 誌	HP	Facebook	そ の 他	48
			12	15	24	12	

## 10 民間防火組織の現況

### (1) 少年消防クラブ

(令和5年4月1日現在)

地 区 名	名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
能 美 町	能 美 少 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 28 年 11 月 1 日	12
総 数	1 団 体		12

### (2) 幼年消防クラブ

(令和5年4月1日現在)

地 区 名	名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
江 田 島 町	認定こども園えたじま幼年消防クラブ	昭 和 59 年 6 月 2 日	117
能 美 町	認定こども園のうみ幼年消防クラブ	昭 和 62 年 2 月 19 日	111
沖 美 町	認定こども園みたか幼年消防クラブ	平 成 5 年 7 月 16 日	22
大 柿 町	認定こども園おおがき幼年消防クラブ	平 成 26 年 11 月 13 日	96
総 数	4 団 体		346

# 【警防関係】

## 1. 消防装備

(1) 消防車両等の配置状況

(令和5年4月1日現在)

配置列		車両名	型式	級別	メーカー	年式	排気量 (cc)	ポンプ メーカー等
本 部	総務課	団本部指揮車			日産	R1	1,990	日本消防協会
		事務連絡車			トヨタ	H14	1,980	
		事務連絡車			スズキ	H26	650	
	警防課	指揮統制車			日野	H22	4,000	
	予防課	事務連絡車			トヨタ	H12	2,980	
江 田 島 消 防 署	本 署	指揮車			日産	H29	1,990	
		消防ポンプ自動車	CD- I	A2	日野	H22	4,000	森田ポンプ
		消防ポンプ自動車	CD- I	A2	三菱	H15	5,240	小川ポンプ
		小型動力ポンプ積載車			日野	H14	2,693	
		救助工作車			日野	H20	4,000	
		泡原液搬送車			日野	H14	20,780	森田ポンプ
		資器材搬送車			日野	H18	6,400	
		救急車	高規格		トヨタ	H30	2,690	
		救急車	高規格		トヨタ	R2	2,693	
		救急車	軽救急車		日産	H28	650	
		小型動力ポンプ		B3	トーハツ	H16	617	
		小型動力ポンプ		B2	ラビット	H14	635	タンク車装備
		小型動力ポンプ		B3	ラビット	H14	635	積載車積載
		小型動力ポンプ		C1	ラビット	H20	175	救助工作車積載
		消防活動二輪車			ヤマハ	H18	225	
		ミニホイールローダー	WA40-6		コマツ	H26	2,189	
	スクーター			ホンダ	H22	49	市から	
	出 張 所	消防ポンプ自動車	CD- I	A2	日野	R4	3,500	森田ポンプ
		小型動力ポンプ積載車			日産	H14	1,990	
		広報車			スズキ	H15	650	
大型化学高所放水車			A1	日野	H30	8,866	森田ポンプ	
救急車		高規格		トヨタ	H26	2,690		
救急車		軽救急車		三菱	H25	650		
小型動力ポンプ			B3	ラビット	H14	635	積載車積載	
消防活動二輪車				ヤマハ	H18	225		
スクーター			ホンダ	R1	49	オキモーターサイクル		

## (2) 特殊機器等の配置状況

(令和5年4月1日現在)

種 別		総 数	本 部	江田島消防署	
				本 署	出張所
一般救助用器具	かぎ付はしご	2		2	
	三連はしご	2		2	
	救命索発射銃	1		1	
	救助用縛帯	10		8	2
	空気式救助マット	1		1	
重量物排除器具	油圧ジャッキ	1		1	
	大型油圧スプレッダー	1		1	
	マット型空気ジャッキ	1		1	
	可搬ウインチ	2		2	
切断用器具	大型油圧切断機	1		1	
	電動油圧切断機	1			1
	空気鋸	1		1	
	エンジンカッター	3		2	1
	ガス溶断機	1		1	
	チェンソー	6		4	2
	ボルトクリッパー	6		3	3
破壊器具	万能斧	9		8	1
	削岩機	1		1	
	ハンマードリル	1		1	
	ストライカー	1		1	
測定用器具	マルチ型ガス測定器	3		2	1
	検知管式有毒ガス検知器	2		2	
	個人線量計	18		18	
呼吸保護用器具	空気呼吸器	19		10	9
	酸素呼吸器	2		2	
	空気ボンベ	53		42	11
	防塵マスク	43		33	10
隊員保護用器具	化学防護服（陽圧式）	2		2	
	防毒衣	14		11	3
	耐電手袋	7		2	5
	耐電衣・ズボン・長靴	2		1	1
	安全帯	21		14	7
	耐熱服	8		4	4

水難救助用器具	潜水器具一式	6		6	
	救命胴衣	44		30	14
	水中投光器	2		2	
	救命ボート・船外機	1		1	
	水中カメラ	1		1	
その他の救助用器具	投光器一式	10	1	7	2
	携帯投光器	50	9	27	14
	携帯拡声器	19	6	10	3
	発動発電機	12	3	7	2
高度救助器具	熱画像直視装置	2		1	1
その他	ジェットシューター	17		11	6
	除染テント	1		1	
	手動式噴霧器	1		1	
	インパルス消火システム	1			1
	エアータント	2	2		
	ラインプロポーションナー	1			1
	土のう製作器	2		2	
	送(排)風機	2		2	
救急用資器材	半自動式除細動器	1		1	
	輸液ポンプ	0			
	血圧計	3		2	1
	聴診器	6		5	1
	患者監視装置	5		3	2
	喉頭鏡セット	5		3	2
	ショックパンツ	0			
	自動心マッサージ器	4		2	2
	人工呼吸訓練人形(レサシアン)	2		0	2
	バックボード一式	5		3	2
	救急バック	9		7	2
	マジックギブス	3		2	0
	人工呼吸訓練人形(アクター911)	30		30	
	AED トレーナー	8		5	3
	AED	7		4	3
	血糖測定器	3		2	1

## 2. 水利施設

(令和5年4月1日現在)

区 分			総 数	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	
総 数			933	305	209	179	240	
消 火 栓	合 計		528	191	119	97	121	
	公 設	地下式	75mm～	370	153	89	72	56
			150mm～	139	37	29	23	50
		地上式	75mm～	16	1	1	1	13
			150mm～	3			1	2
	私 設	地下式	75mm～					
			150mm～					
		地上式	75mm～					
			150mm～					
	防 火 水 そう そ の 他	合 計		316	95	73	65	83
		公 設	20 立方メートル未満	23	10	8	3	2
			20～40 立方メートル未満	89	41	14	24	10
40 立方メートル以上			135	32	36	18	49	
私 設		20 立方メートル未満	30	3	4	10	13	
		20～40 立方メートル未満	19	3	5	5	6	
		40 立方メートル以上	20	6	6	5	3	
そ の 他		合 計		89	19	17	17	36
		プ ー ル		5	1	2	2	
	海 水 (常 時)		42	12	7	10	13	
	池 ・ 沼 ・ その他		42	6	8	5	23	

### 3. 主な災害の状況

#### (1) 建物火災の記録（過去5年）

年別	出火日時	用途	出火場所	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者
平成30年	2月9日 4:30	住宅	大柿町柿浦	115	8,659	3	
	3月28日 17:25	住宅	江田島町宮ノ原	0	8		
	4月19日 0:50	住宅	能美町鹿川	187	3,643	3	
	6月1日 14:35	休憩所	大柿町深江	87	8,877		
	6月26日 1:30	住宅	大柿町大原	5	70		
	9月6日 14:40	作業場	能美町鹿川	21	284		
	12月13日 3:00	住宅	大柿町飛渡瀬	0	2		
令和元年	6月2日 15:40	納屋	大柿町柿浦	3	12		
	6月21日 10:50	住宅	能美町鹿川	2	133		1
	11月14日 7:00	店舗	沖美町三吉	0	272		
	11月15日 9:15	住宅	沖美町岡大王	4	212		1
令和2年	6月17日 3:50	作業場	大柿町大君	0	5		
	10月2日 20:00	住宅	江田島町秋月	118	9,799		
	10月26日 0:00	住宅	大柿町柿浦	132	4,914		
令和3年	2月5日 10:49	住宅	江田島町小用	0	39		
	3月14日 2:45	住宅	大柿町大君	106	13,219	1	
	3月31日 15:00	作業場	沖美町三吉	11	842		
	4月13日 16:43	危険物製造所	江田島町小用	0	50		
	4月24日 14:45	住宅	沖美町岡大王	0	28		
	5月4日 2:10	住宅	江田島町秋月	50	6,368		3
	6月12日 13:00	住宅	能美町鹿川	187	16,373		

	7月11日 10:30	住宅	江田島町切串	0	0		1
	9月30日 15:37	物置	能美町中町	7	151		
令和4年	5月17日 13:12	訓練場	江田島町国有無 番地	4	13		
	8月30日 23:30	作業場	大柿町大原	126	3,203		

(2) 爆発事故の記録

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	死者	負傷者
平成 8年	4月16日 8:35	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊2棟・一部破壊12棟 損害額 11,311千円	3	
	11月18日 10:40	江田島町切串 火薬類製造工場	建物等への被害なし		1
	11月19日 14:18	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊40棟・半壊14棟・一部破壊65棟 全焼4棟・半焼2棟・部分焼1棟 損害額 846,895千円		8
平成 10年	8月4日 6:16	江田島町小用 火薬類製造工場	一部破壊2棟 損害額 2,020千円		1
平成 15年	11月4日 8:15	能美町高田 ドック係留船舶	機関室, ボイドスペース及び左舷側客室 通路を爆発により破損。 損害額 11,311千円	1	4
平成 18年	3月27日 16:58	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊1棟(廃薬焼却場)・一部破壊2棟 損害額 3,001千円		1

## (3) 林野火災の記録(焼損面積1ヘクタール以上)

年別	出火日時	出火場所	焼損面積 (h a)	損害額 (千円)	死者	負傷者
昭和52年	2月7日 16:30	大柿町大原黒獄	40	60		
昭和53年	2月21日 14:30	沖美町大奈佐美島	1.5	50		
	6月1日 16:00	江田島町宮ノ原	1,004.59	240,656		
昭和59年	3月26日 13:12	大柿町大原	22	1,655		
昭和60年	2月14日 13:55	沖美町岡大王	4	180		
昭和63年	4月6日 10:40	大柿町大君	21	441		
平成3年	5月5日 13:00	大柿町大原	25	1,500		
平成7年	8月6日 11:55	大柿町大君	80	2,250		
平成9年	1月20日 13:30	江田島町タデクサ山	45	2,633		2
	3月24日 11:33	江田島町秋月	2	105		
平成10年	7月18日 8:55	江田島町津久茂	1	159		
平成12年	5月8日 13:00	江田島町大須	2	205		
平成16年	7月24日 16:15	大柿町深江	3	507		1
平成20年	1月6日 14:00	大柿町大原	4	180		2
平成21年	4月13日 11:00	江田島町津久茂	5	277		
令和元年	9月12日 18:15	江田島町大須	4.7	223		

## (4) 水害の記録 (崖崩れ)

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	倒壊面積 (㎡)	死者	負傷者
昭和 56年	7月4日 6:32	江田島町 津久茂	<p>1 発生状況 裏山の崖の表層約50立方メートルの土砂と竹林及び樹木が地滑り現象により、品覚寺本堂を直撃して倒壊。</p> <p>2 気象状況 大雨洪水警報発令中 前日からの雨量 152mm 天候 曇 湿度 100% 風向 南南西 風速 1.2m/sec</p>	344	4	9
平成 30年	7月7日 時分不明	江田島町 秋月	<p>1 発生状況 土砂崩れにより住宅1棟が倒壊。</p> <p>2 気象状況 大雨特別警報, 洪水警報, 雷注意報 (秋月観測所) 時間雨量 48mm (6日8:00) 累加雨量 453mm 天候 雨 湿度 99% 風向 西南西 風速 1m/sec</p>			3

## (5) 水害記録 (冠水)

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	救助者数	死者	負傷者
平成 21年	7月24日 23:07	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量65mm 天候 雨 湿度99.9% 風向 南東 風速3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救出。	3		
	7月24日 23:19	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量67mm 天候 雨 湿度99.9% 風向 南東 風速3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救出。	2		
	7月25日 0:19	能美町鹿川	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量82mm 天候 雨 湿度99.9% 風向 南東 風速3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救出。	1		
	7月25日 0:20	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床上浸水し脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量82mm 天候 雨 湿度99.9% 風向 南東 風速3.7m/sec 3 自力避難困難のため救助艇により救出。	2		
平成 22年	7月14日 10:15	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床上浸水し脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水警報, 雷注意報 前日からの雨量132mm 天候 雨 湿度99.9% 風向 南南東 風速1.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救出。	1		

平成 30年	7月6日	江田島町 宮ノ原	<p>1 発生状況 豪雨により関係宅付近が冠水及び土砂の流入があり、脱出不能となったもの。</p> <p>2 気象状況 大雨特別警報, 洪水警報, 雷注意報 前日からの雨量 251 mm 天候 雨 湿度 98.3% 風向 東 風速 1.4m/sec</p> <p>3 自力避難困難のため、介添え等により救出。</p>	15		
	7月7日	能美町 中町	<p>1 発生状況 降雨により関係宅付近が約 120 cm程度冠水しており、脱出不能となったもの。</p> <p>2 気象状況 大雨特別警報, 洪水警報, 雷注意報 前日からの雨量 348 mm 天候 雨 湿度 98.6% 風向 西南西 風速 1m/sec</p> <p>3 自力避難困難のため、消防署及び消防団のボート2艇により救出。</p>	37		

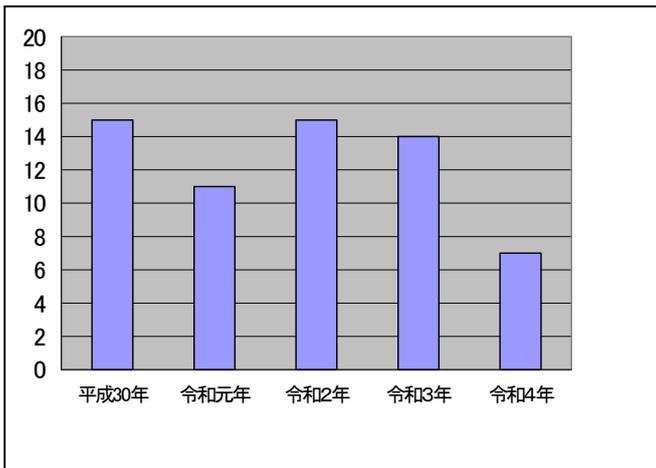
# 【火災統計】

## 1. 年別火災発生状況

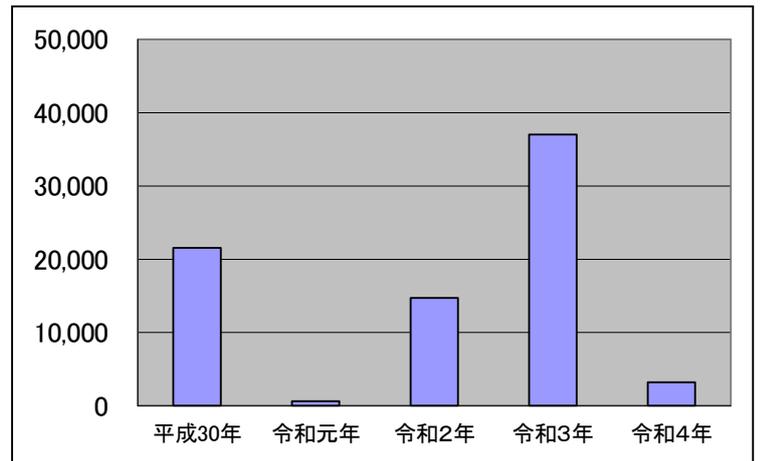
(過去5年間)

	総 件 数	建物火災			林野火災			車両・船舶火災 その他火災		死 者	負 傷 者
		件 数	焼 損 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)		
平成30年	15	7	439	21,543	0	0	0	8	9	7	0
令和元年	11	4	10	629	1	470	223	6	161	0	4
令和2年	15	3	244	14,718	0	0	0	2	1,752	0	2
令和3年	14	9	445	37,027	1	13	0	4	333	1	4
令和4年	7	2	130	3,216	2	14	0	3	0	0	0

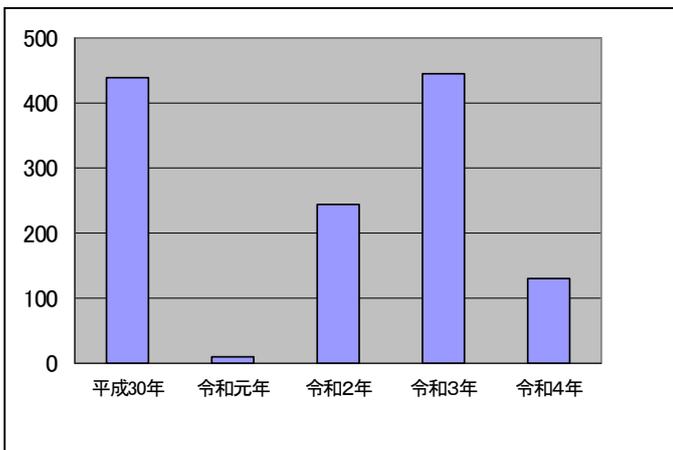
火災件数



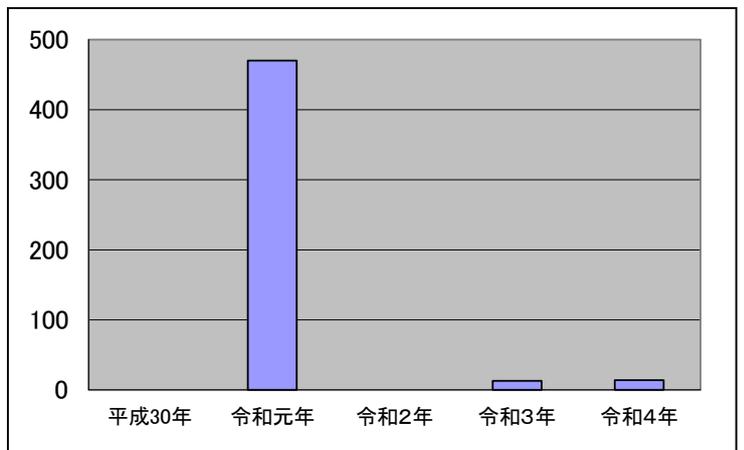
建物火災損害額 (千円)



建物火災焼損面積 (㎡)



林野火災焼損面積 (a)



## 2. 地区別火災発生状況

(過去5年間)

区 分	火災件数							焼損棟数				死傷者		焼損面積	
	総 数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	死 者	負 傷 者	建物 (㎡)	林野 (a)
令和4年	総 数	7	2	2			3		1	1				130	14
	江田島町	1	1							1				4	4
	能美町	2		1			1								
	沖美町														
	大柿町	4	1	1			2		1					126	10
令和3年	総 数	14	9	1	1		3	4		9	4	1	4	445	13
	江田島町	5	4				1	1		3	1		4	58	
	能美町	3	2				1	1		2	2			221	
	沖美町	2	2							2				14	
	大柿町	4	1	1	1		1	2		2	1	1		152	13
令和2年	総 数	15	3		2		10	3			3	2		253	
	江田島町	3	1		1		1	1			1			121	
	能美町	2					2								
	沖美町	2					2					2			
	大柿町	8	2		1		5	2			2			132	
令和元年	総 数	11	4	1		1	5	1		3			4	10	470
	江田島町	2		1			1								470
	能美町	3	1			1	1			1		2	2		
	沖美町	4	2				2			2		2	5		
	大柿町	2	1				1	1						3	
平成30年	総 数	15	7		1		7	7		6	4	7		439	
	江田島町	2	1				1				1	1			
	能美町	5	2				3	2		3		3		219	
	沖美町	3					3								
	大柿町	5	4		1			5		3	3	3		220	

### 3. 月別火災件数

(令和4年中)

月別	火災件数							焼損面積		負傷者	損害額(千円)		
	総数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)		総額	建物	建物以外
総数	7	2	2				3	130	14		3,216	3,166	50
1月	1		1						4				
2月	2		1				1		10				
3月													
4月													
5月	1	1						4			13	13	
6月													
7月													
8月	1	1						126			3,203	3,153	50
9月													
10月													
11月	1						1						
12月	1						1						
前年数	14	9	1	1			3	445	13	2	37,360	37,027	333

### 4. 出火原因別火災件数

(令和4年中)

月別	総数	たき火		たばこ		風呂		放火(疑い)	電気・ガス	不明	その他
		延焼	飛火	投捨て	放置	かまど	取灰				
総数	7	5							1	1	
1月	1	1									
2月	2	2									
3月											
4月											
5月	1									1	
6月											
7月											
8月	1								1		
9月											
10月											
11月	1	1									
12月	1	1									

5. 時間別火災発生状況

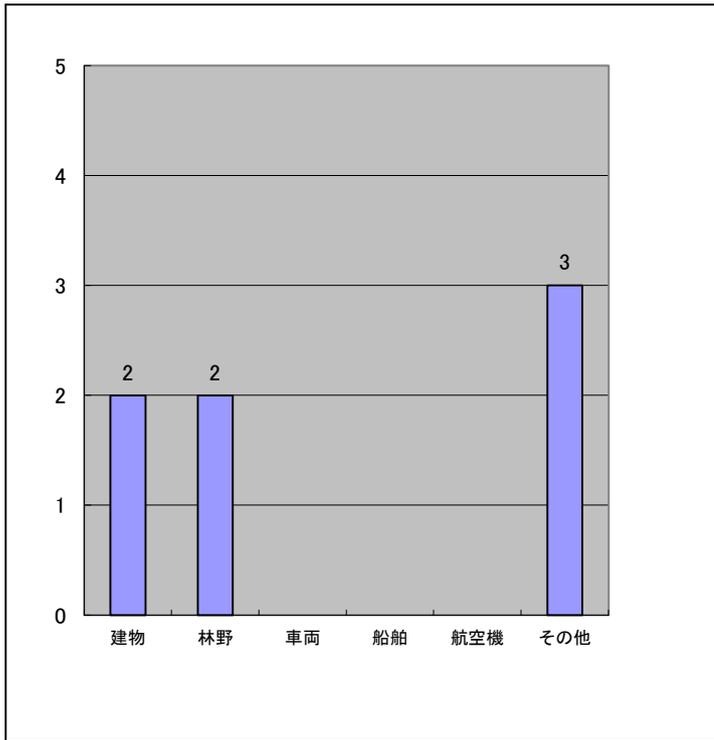
(令和4年中)

時間別	火災件数							焼損棟数							焼損面積		損害額 (千円)		
	総数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	火元棟				延焼棟				建物 (m <sup>2</sup> )	林野 (a)	建物	建物以外
								全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
総数	7	2	2				3	1	1						130	14	3,166	50	
0~1																			
1~2																			
2~3																			
3~4																			
4~5																			
5~6																			
6~7																			
7~8																			
8~9																			
9~10																			
10~11																			
11~12																			
12~13	1						1												
13~14	4	1	2				1		1					4	14	13			
14~15																			
15~16	1						1												
16~17																			
17~18																			
18~19																			
19~20																			
20~21																			
21~22																			
22~23																			
23~24	1	1						1						126		3,153	50		
不明	1						1												

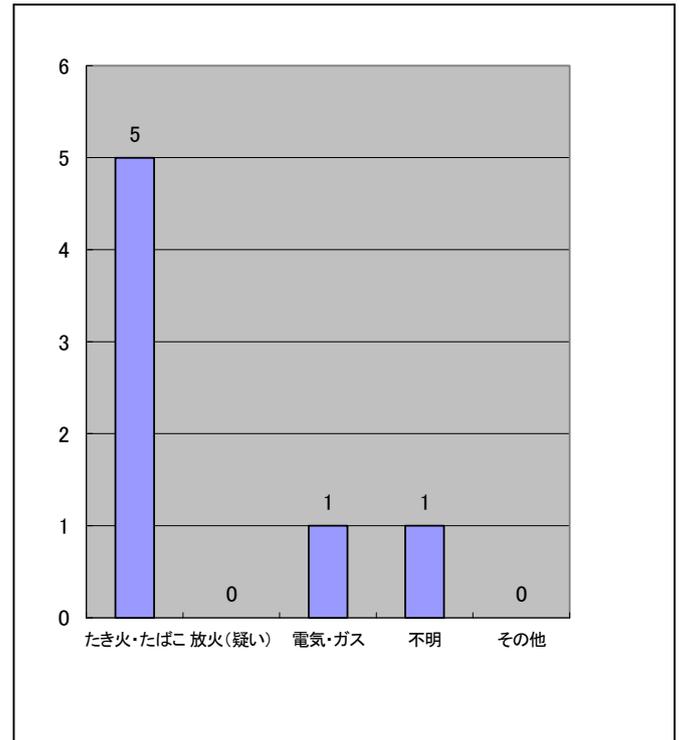
## 6. 火災統計各図

(令和4年中)

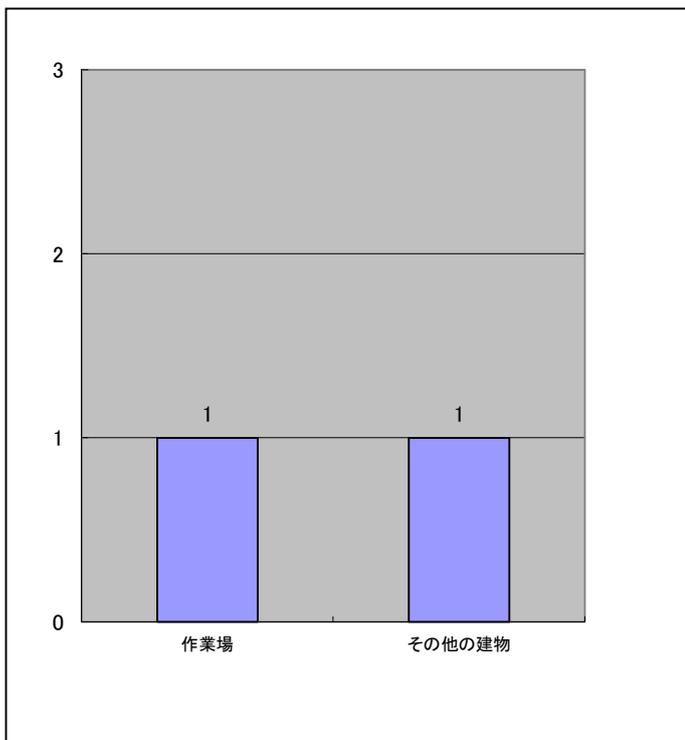
第1図 火災種別件数



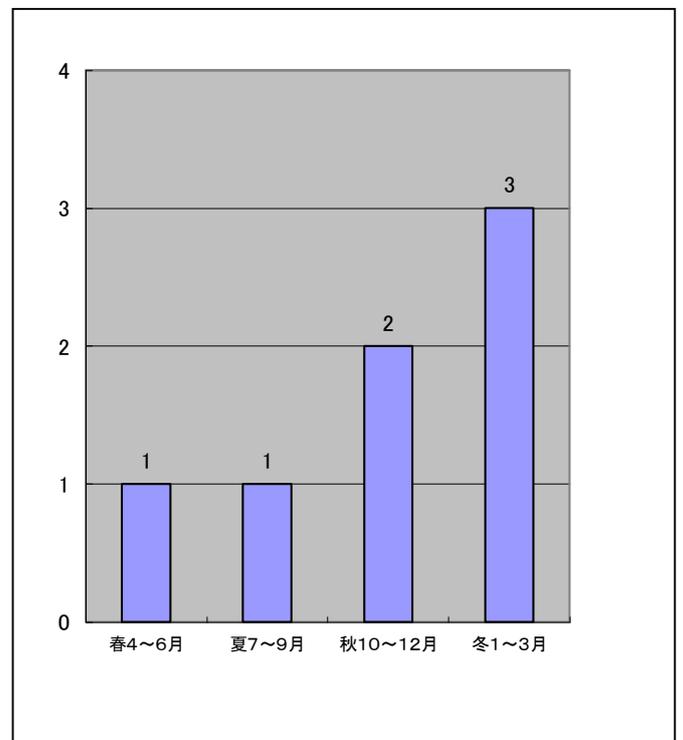
第2図 出火原因別火災件数



第3図 建物用途別火災件数



第4図 四季別火災件数



## 【救急・救助統計】

### 1. 救急出動件数及び搬送人員

(令和4年中)

区 分		総 数	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	管 外
総 数	出場件数	1692	586	404	200	502	
	搬送人員	1581	547	378	190	466	
火 災	出場件数	1				1	
	搬送人員	1				1	
自 然 災 害	出場件数						
	搬送人員						
水 難	出場件数	6	1	1	3	1	
	搬送人員	3		1	2		
交 通	出場件数	44	10	11	3	20	
	搬送人員	47	13	10	3	21	
労 働 災 害	出場件数	24	13	4	4	3	
	搬送人員	23	12	4	4	3	
運 動 競 技	出場件数	8	2	2	1	3	
	搬送人員	7	2	1	1	3	
一 般 負 傷	出場件数	283	95	69	38	81	
	搬送人員	257	84	64	35	74	
加 害	出場件数	3	1	1		1	
	搬送人員	2		1		1	
自 損 行 為	出場件数	6	3	1		2	
	搬送人員	4	2	1		1	
急 病	出場件数	959	342	191	147	279	
	搬送人員	882	315	172	141	254	
その他	出場件数	358	119	124	4	111	
	搬送人員	355	119	124	4	108	

## 2. 月別救急出動件数及び搬送人員

(令和4年中)

区分		総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
総数	出場件数	1692	1		6	44	24	8	283	3	6	959	358
	搬送人員	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
1月	出場件数	144				4	3		22		1	91	23
	搬送人員	133				4	3		19		1	84	22
2月	出場件数	116	1		1		2		19			67	26
	搬送人員	103	1		1		2		18			55	26
3月	出場件数	121				4			26	1		70	20
	搬送人員	115				4			24	1		66	20
4月	出場件数	130				1	3		20		1	72	33
	搬送人員	124				2	3		20		1	64	34
5月	出場件数	120				6	2		36			54	22
	搬送人員	111				6	2		30			51	22
6月	出場件数	138				1	4	2	25			71	35
	搬送人員	131				1	4	2	21			68	35
7月	出場件数	152				2	1	2	28		2	86	31
	搬送人員	143				2	1	2	26		1	80	31
8月	出場件数	181			2	6	1	1	15	1		121	34
	搬送人員	172			2	7	1	1	15	1		112	33
9月	出場件数	142			1	2	1	1	26			71	40
	搬送人員	134				2	1	1	25			66	39
10月	出場件数	159				8	3		22	1	2	87	36
	搬送人員	150				7	3		21		1	82	36
11月	出場件数	121			2	5	1	2	19			65	27
	搬送人員	108				3		1	16			61	27
12月	出場件数	168				5	3		25			104	31
	搬送人員	157				9	3		22			93	30

3. 曜日別救急出動件数及び搬送人員

(令和4年中)

区分		総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
総数	出場件数	1692	1		6	44	24	8	283	3	6	959	358
	搬送人員	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
日	出場件数	206				8	2	2	37	1	2	139	15
	搬送人員	185				9	2	2	33		2	122	15
月	出場件数	302			1	4	5		57			157	78
	搬送人員	282				4	5		53			144	76
火	出場件数	246				2	6	1	35		2	142	58
	搬送人員	237				2	6	1	32		2	137	57
水	出場件数	239				7	4	2	41		1	127	57
	搬送人員	229				10	3	2	36			120	58
木	出場件数	262	1		2	8	2		33			151	65
	搬送人員	251	1		2	8	2		32			141	65
金	出場件数	213				8	4	1	39	1	1	119	40
	搬送人員	195				7	4		35	1		109	39
土	出場件数	224			3	7	1	2	41	1		124	45
	搬送人員	202			1	7	1	2	36	1		109	45

## 4. 時間別救急出動件数及び搬送人員

(令和4年中)

区分		総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
総数	出場件数	1692	1		6	44	24	8	283	3	6	959	358
	搬送人員	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
0~2	出場件数	42							7			33	2
	搬送人員	32							7			23	2
2~4	出場件数	41				1			6			31	3
	搬送人員	36				1			4			28	3
4~6	出場件数	53				1			10			40	2
	搬送人員	50				1			10			37	2
6~8	出場件数	114			5	9	4		20			75	1
	搬送人員	102			2	8	4		18			69	1
8~10	出場件数	246				1	8		47		1	142	47
	搬送人員	240				4	8		45		1	136	46
10~12	出場件数	278				9	3	2	40		2	127	95
	搬送人員	268				8	3	2	38		1	121	95
12~14	出場件数	195				4	3	2	23		1	97	65
	搬送人員	186				4	3	2	21			91	65
14~16	出場件数	178	1		1	8	3		36			85	44
	搬送人員	167	1		1	9	2		34			77	43
16~18	出場件数	211				8	3	2	29		2	96	71
	搬送人員	204				9	3	2	25		2	93	70
18~20	出場件数	147				1		1	26	2		104	13
	搬送人員	132				1		1	23	1		93	13
20~22	出場件数	99				1		1	22			66	9
	搬送人員	82				1			18			54	9
22~24	出場件数	88				1			17	1		63	6
	搬送人員	82				1			14	1		60	6

## 5. 年齢区分別搬送人員

(令和4年中)

区 分	総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
新生児												
乳幼児	27				3			6			18	
少 年	22				2		5	4			9	2
成 人	257			1	26	15	2	27		1	147	38
高齢者	1275	1		2	16	8		220	2	3	708	315

## 6. 傷病程度別搬送人員

(令和4年中)

区 分	総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
死 亡	33				1	1		1			30	
重 症	122				2	1		13		1	64	41
中等症	979	1		1	13	17	4	144		2	514	283
軽 症	447			2	31	4	3	99	2	1	274	31
その他												

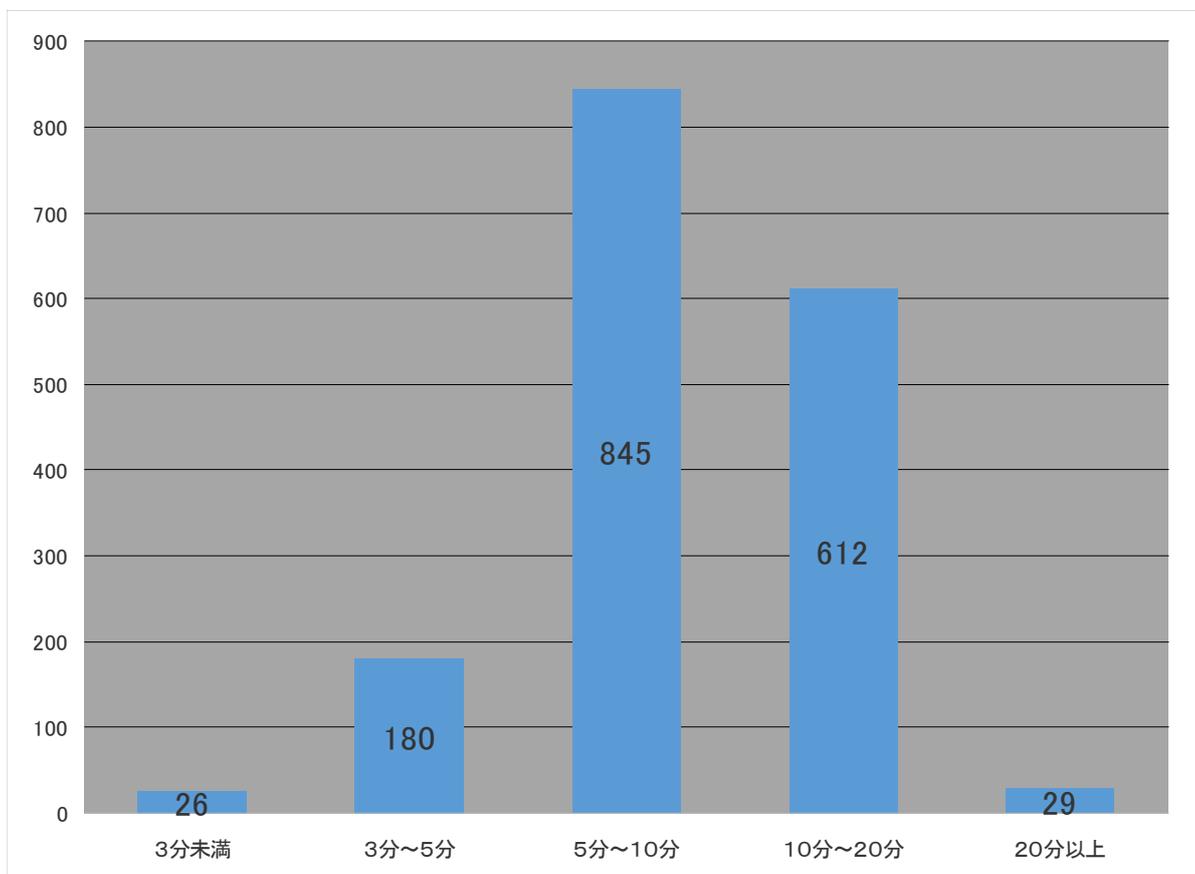
7. 傷病程度・年齢区分別搬送人員

(令和4年中)

区 分	総 数	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者
総 数	1581	0	27	22	257	1275
死 亡	33				5	28
重 症	122		1	2	17	102
中等症	979		8	9	142	820
軽 症	447		18	11	93	325
その他						

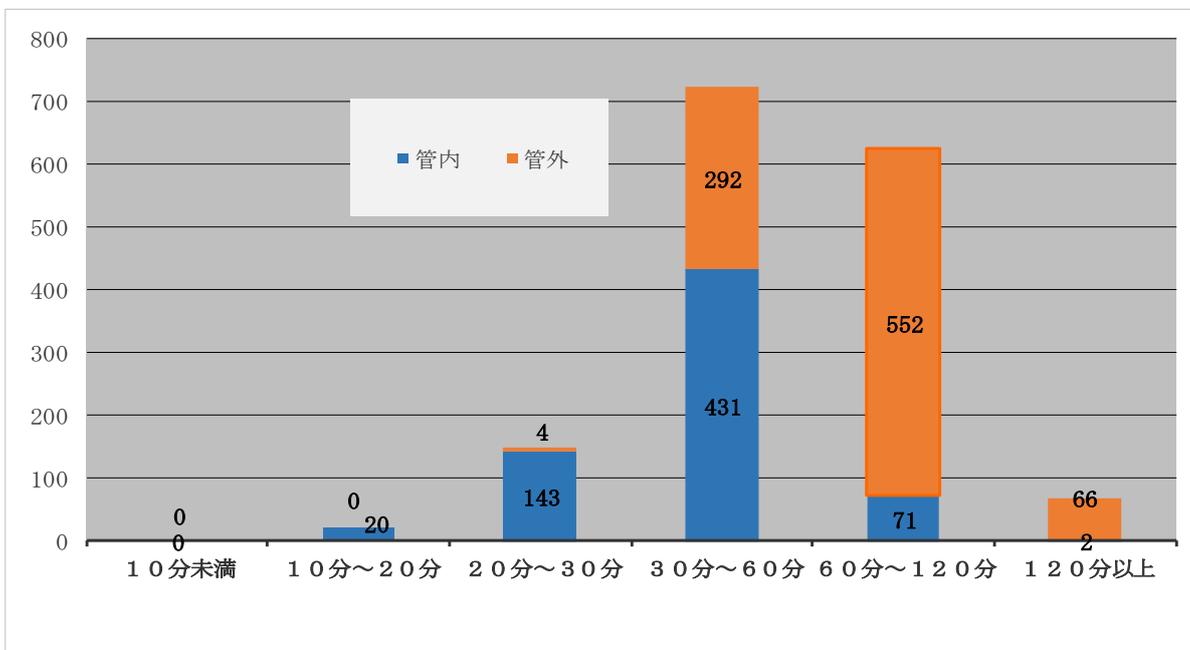
8. 現場到着所要時間別出動件数（覚知から現場到着まで）

(令和4年中)



9. 病院収容所要時間別搬送人員（覚知から病院到着まで）

(令和4年中)



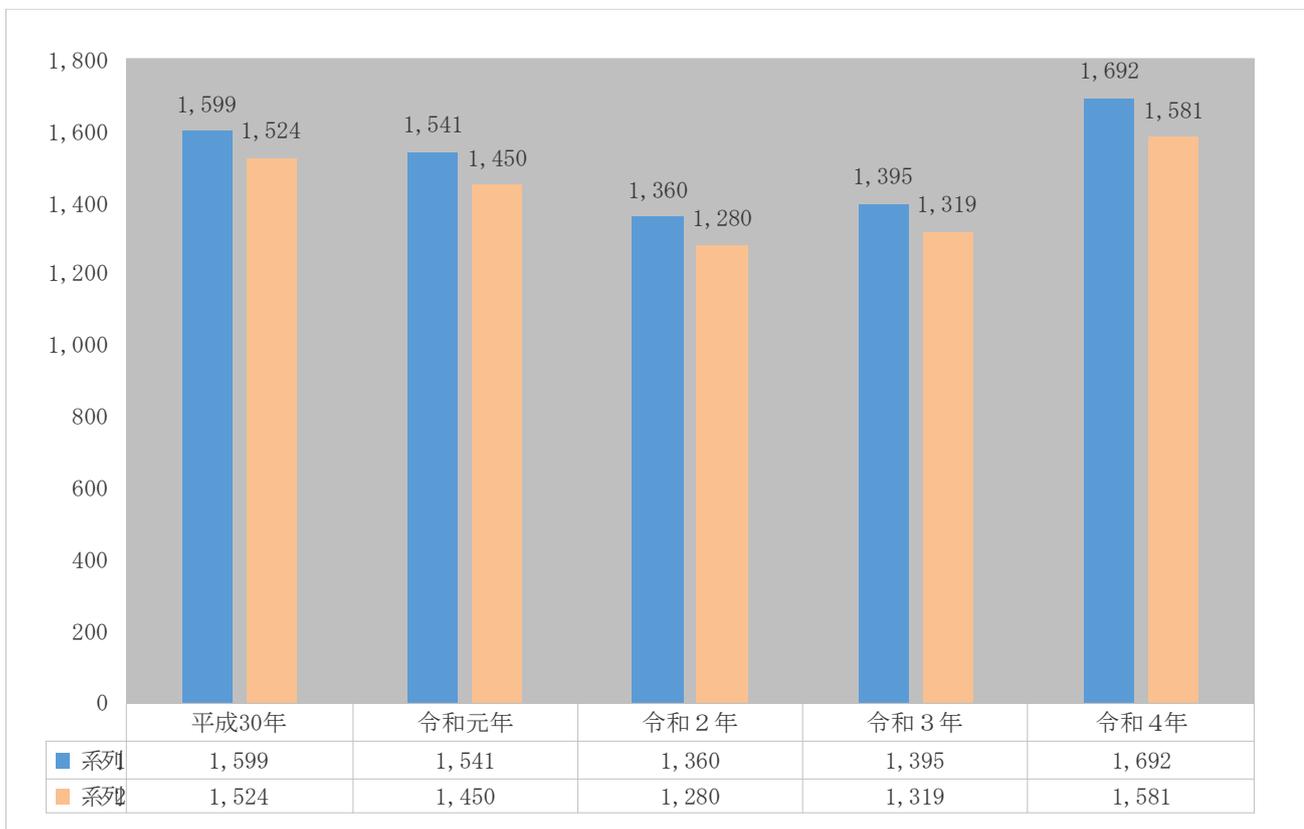
### 10. 救急隊員の行った応急処置

(令和4年中)

区分	総数	心肺蘇生	固定	酸素吸入	血中酸素	聴診	止血	気道確保	心電図	血圧測定	その他
総数	6449	35	34	447	1544	918	34	29	720	1539	1149
急病	3628	32	1	276	853	522	2	24	451	849	618
交通	185	1	15	10	42	24	3	2	13	42	33
一般負傷	948	1	10	21	256	115	22	2	56	256	209
その他	1688	1	8	140	393	257	7	1	200	392	289

### 11. 年別救急出動及び搬送人員

(過去5年間)



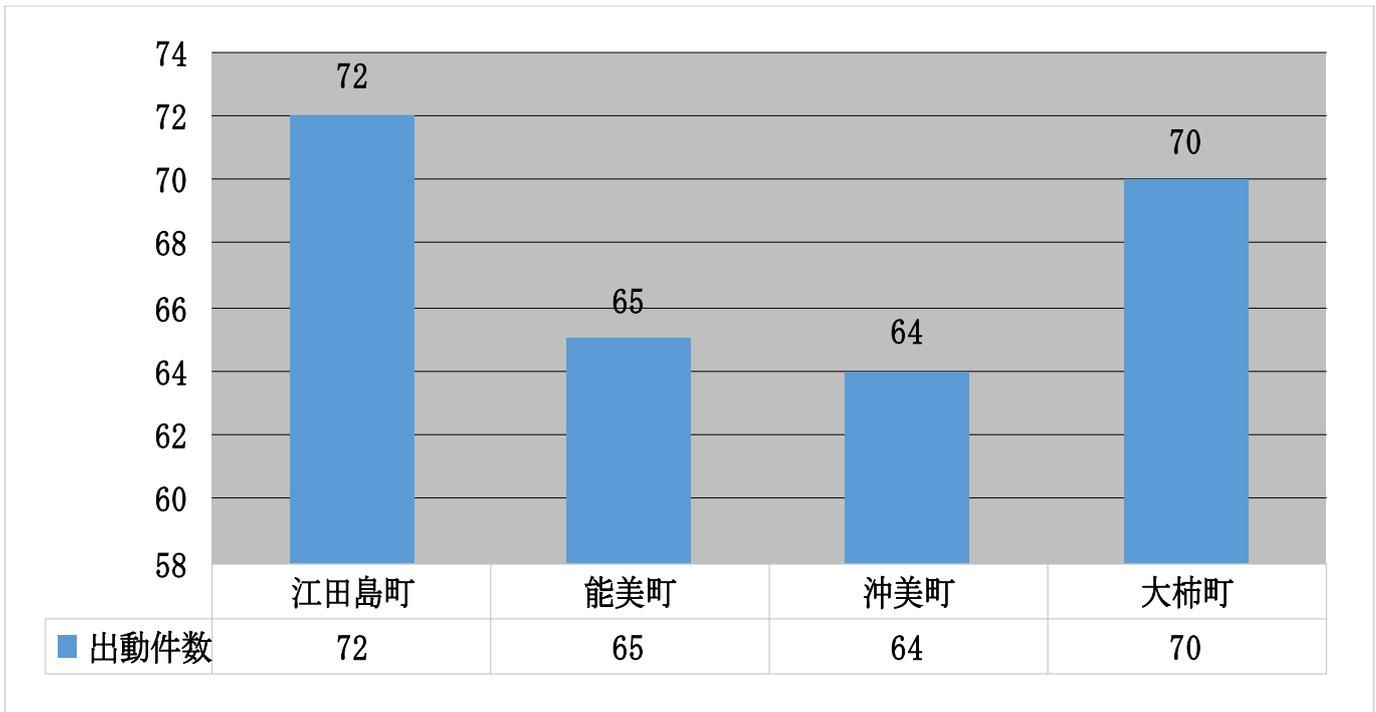
## 1.2. 救急隊別出場件数及び搬送人員

(令和4年中)

区分		総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
総数	出場件数	1692	1		6	44	24	8	283	3	6	959	358
	搬送人員	1581	1		3	47	23	7	257	2	4	882	355
鷺部救急隊	出場件数	1002	1		3	26	17	2	158	2	4	574	215
	搬送人員	887	1		1	28	14	3	125	1	2	506	206
鹿川救急隊	出場件数	690			3	18	7	6	125	1	2	385	143
	搬送人員	694			2	19	9	4	132	1	2	376	149

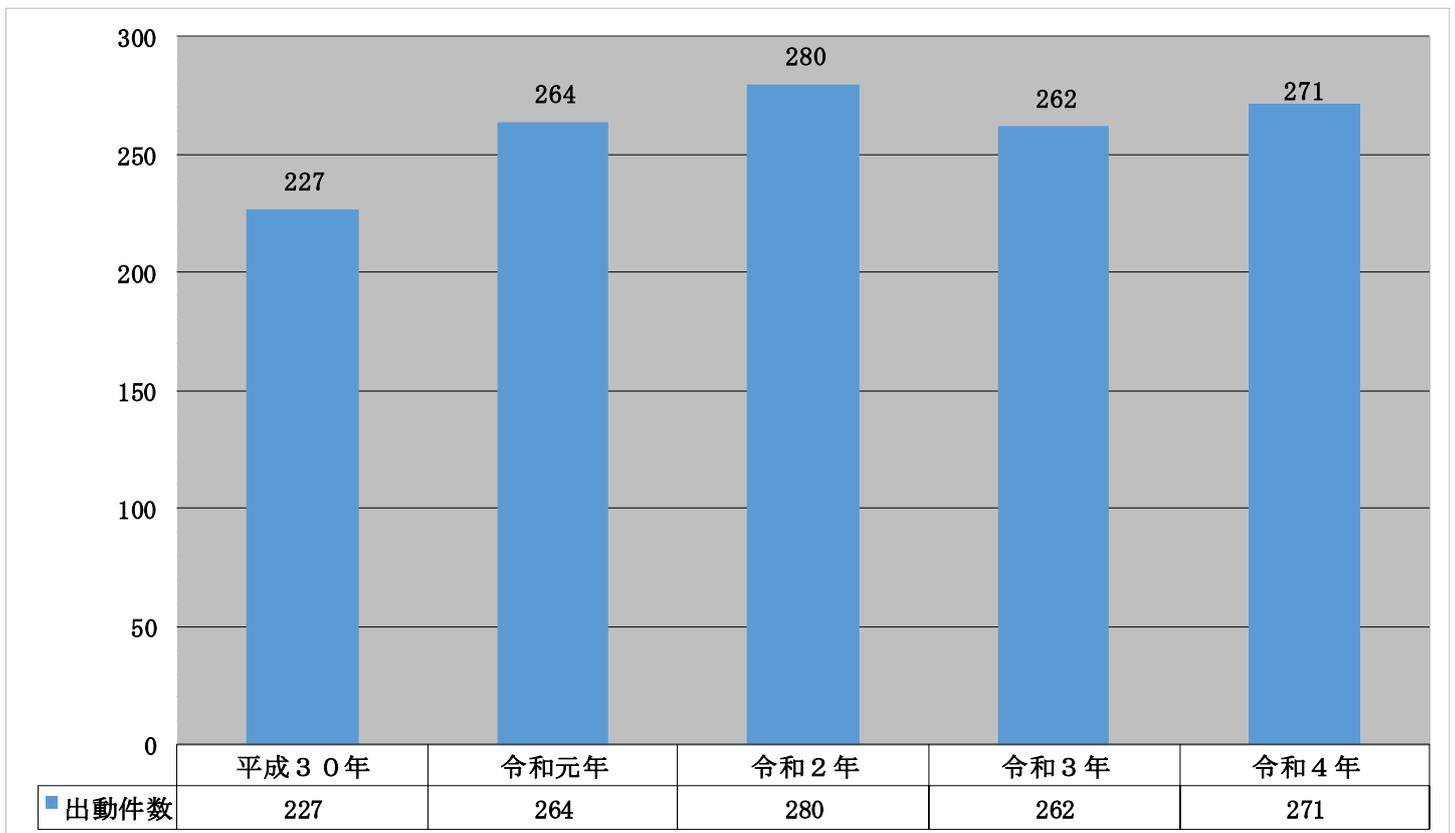
1 3. 救急応援活動の地区別出動件数

(令和4年中)



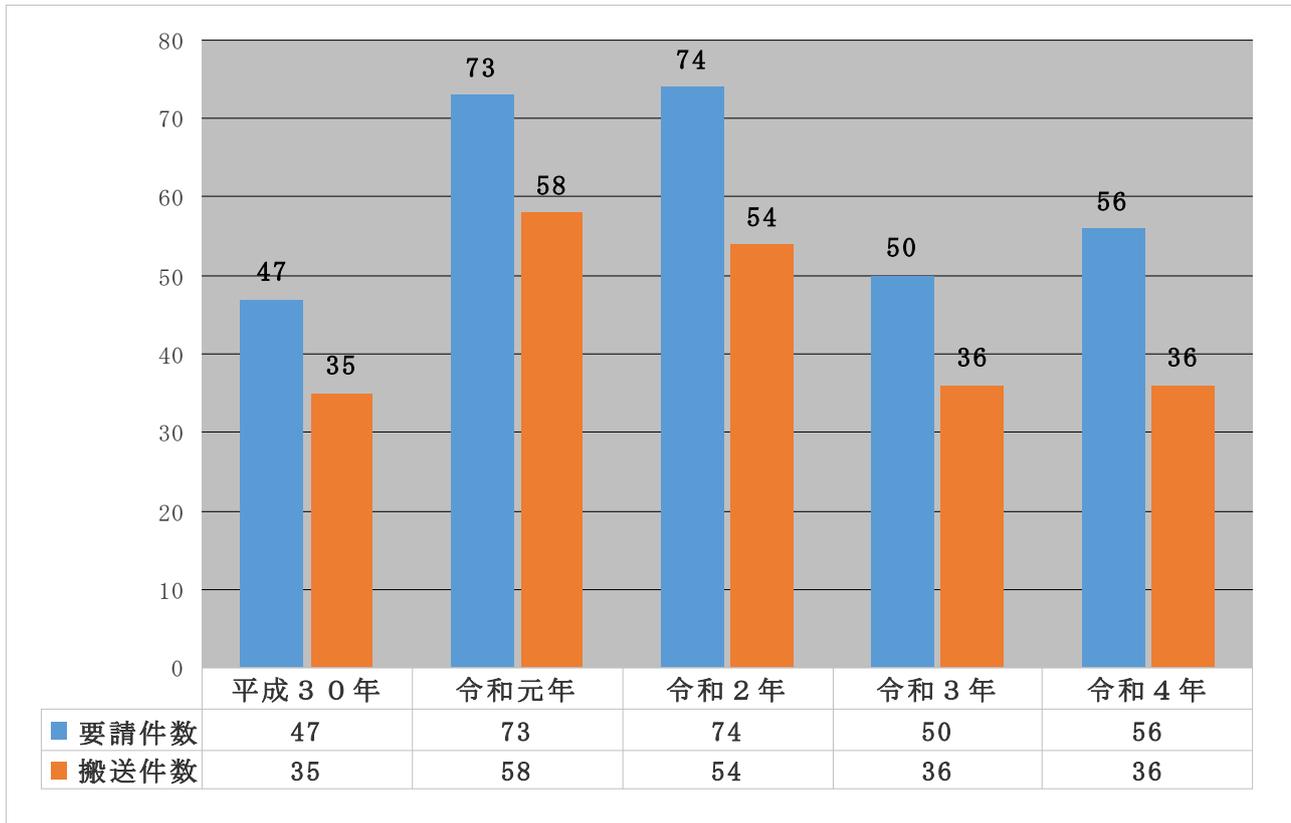
1 4. 救急応援活動の出動件数

(過去5年間)



15. ドクターヘリ要請件数及び搬送件数

(過去5年間)



16. 普通救命講習の実施状況

(過去5年間)

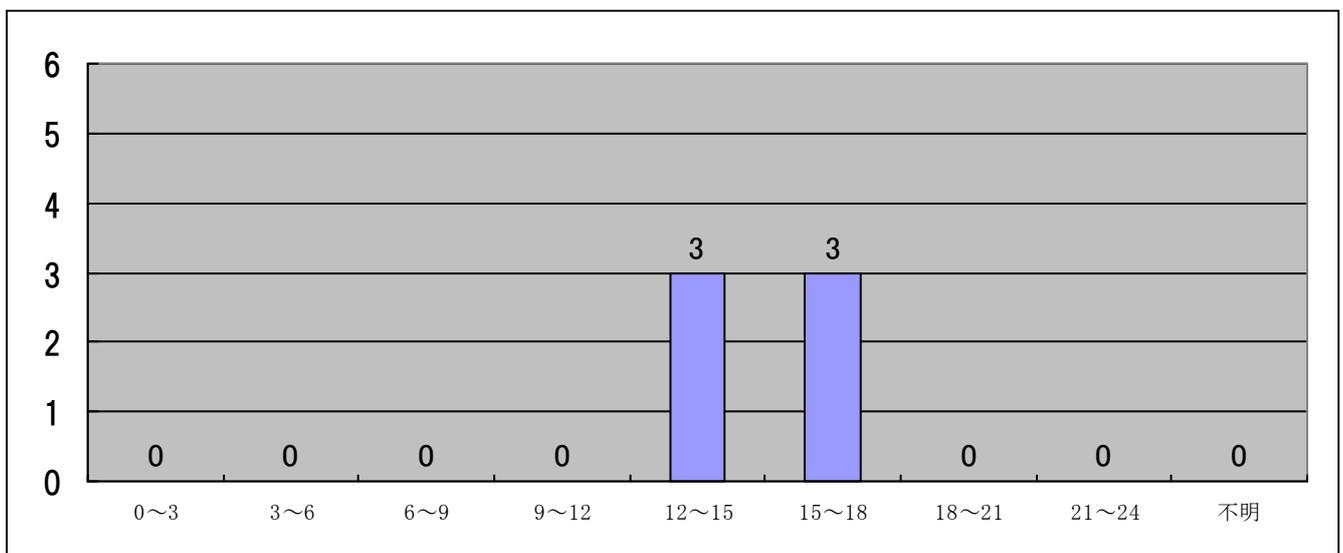
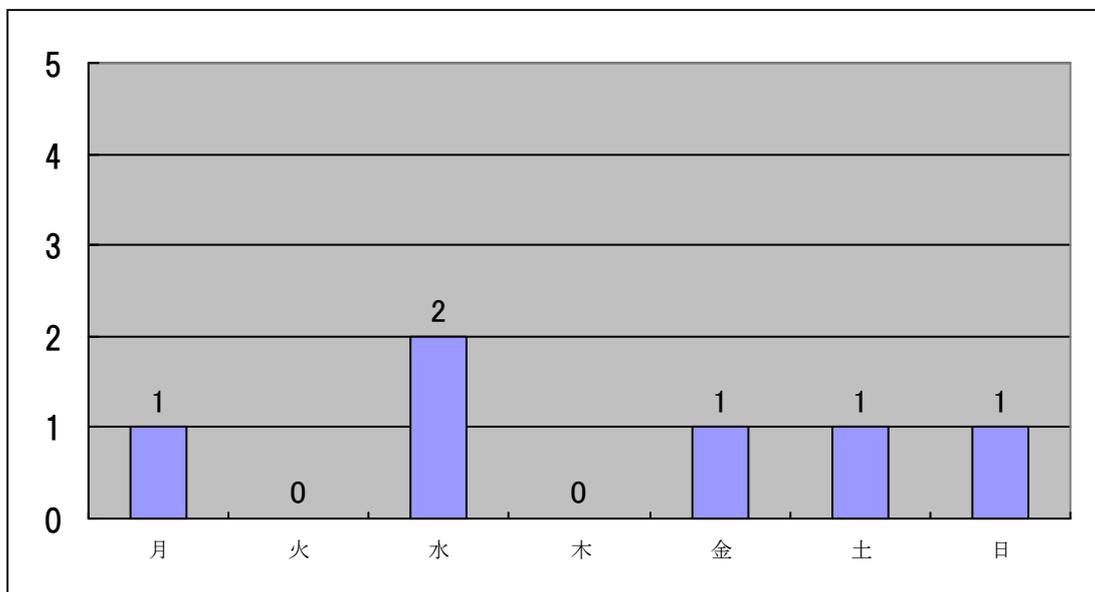
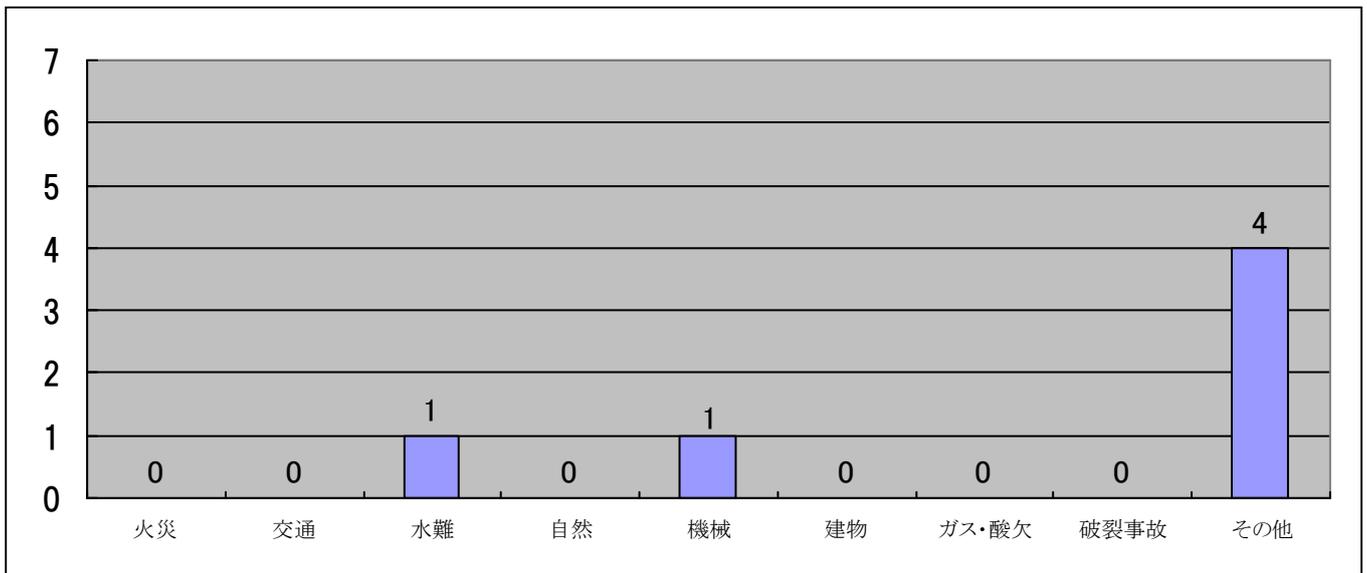
区分	実施回数	修了者数	修了者の居住地				
			江田島町	能美町	沖美町	大柿町	その他
総数	36	739	512	85	10	132	0
平成30年度	9	312	180	60	7	65	0
令和元年度	10	150	128	17	3	2	0
令和2年度	7	106	75	8	0	23	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	10	171	129	0	0	42	0

## 17. 救助出動状況

(過去5年間)

区 分		令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
総 計	出場件数	6	11	15	18	8
	救助人員	6	10	11	58	8
火 災	出場件数		2		2	
	救助人員		2		0	
交 通 事 故	出場件数		4	6	4	6
	救助人員		2	5	2	6
水 難 事 故	出場件数	1		4	3	1
	救助人員	1		2	0	1
自 然 災 害	出場件数				4	
	救助人員				55	
機械による事故	出場件数	1			1	
	救助人員	1			0	
建物等による事故	出場件数					
	救助人員					
ガス及び酸欠事故	出場件数					
	救助人員					
破 裂 事 故	出場件数					
	救助人員					
その他の事故	出場件数	4	5	5	4	1
	救助人員	4	6	4	1	1

第1図 救助種別件数



## 【指令関係】

### 1. 通信施設の概況

(令和5年4月1日現在)

設備名		数量	備考	
119番回線（光IP回線）		18		
携帯119番転送受付回線		2	広島市消防局・呉市消防局等	
指令回線（専用回線）		1	江田島消防署・能美出張所	
指令電送回線		1	江田島消防署・能美出張所	
局線		4		
屯所FAX		27	消防屯所×27	
災害情報自動案内		2	災害テレホンガイド	
メール119番		1		
FAX119番		1		
NET119番		1		
携帯電話一斉指令装置		1		
携帯電話		救急車積載	3 災害時優先電話	
		災害連絡用	7 総務課×2，警防課×1，署×2，所×2	
消防用無線	デジタル	基地局	1 江田島消防呉娑々宇山	
		陸上移動局	車載	20
			携帯	26
			可搬局	2
			卓上	1
広島県防災情報システム		1		
広島県救急医療情報ネットワーク		1		

## 2. 119番受信状況（携帯含む）

（令和4年中）

総数	小計	災 害				小計	災 害 以 外					
		火災	救急	救助	その他		訓練	問合わせ	間違い	いたずら	回線試験	その他
2,652	1,934	12	1,646	5	271	718	91	126	55	0	262	184

## 3. 覚知別災害受信状況

（令和4年中）

区 分	総 数	江田島町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	管 轄 外
総 数	2,210	694	495	277	600	144
専 用	1,123	377	276	160	309	1
携 帯	811	220	152	93	203	143
加 入	256	90	57	24	85	
駆付け	8	2	6			
無 線	9	4	4		1	
その他	3	1			2	

## 4. 出動指令区分

（令和4年中）

区 分		総 数	江田島町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	管 轄 外
火 災	第1出動	6		2		4	
	第2出動						
	特命出動	1	1				
救 急	第1出動	1,396	481	341	163	411	
	第2出動	2	1		1		
	特命出動	294	104	63	36	91	
救 助	第1出動	6	4	2			
	第2出動						
	特命出動						
そ の 他	警戒出動	69	22	17	11	19	
	特命出動						
	調査出動						
	応援出動	271	72	65	64	70	
	その他	8	3	2	1	2	

## 5. 月別災害119番受信件数

(令和4年中)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,934	158	135	131	153	137	157	165	206	156	188	141	207
火災	12	2	2		2				4			1	1
救急	1,646	129	115	112	131	123	140	144	174	138	158	114	168
救助	5	1									1	2	1
その他	271	26	18	19	20	14	17	21	28	18	29	24	37

## 6. 曜日別災害119番受信件数

(令和4年中)

区分	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数	1,934	238	355	292	264	283	247	255
火災	12	1	3		2	4	1	1
救急	1,646	198	299	249	230	251	208	211
救助	5		2		2		1	
その他	271	39	51	43	30	28	37	43

## 7. 時間別災害119番受信件数

(令和4年中)

区分	総数	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
総数	1,934	49	58	143	269	317	224	207	227	171	111	101	57
火災	12		2	1	1	1	2	3			2		
救急	1646	41	50	113	227	268	194	177	207	139	96	87	47
救助	5							3	2				
その他	271	8	6	29	41	48	28	24	18	32	13	14	10

8. 無線在籍表

配置	区分	種 別	呼 出 名 称	電 力	メーカ一	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3		
江田島市消防本部		基地局	江田島消防呉姿々宇山	20W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		陸上移動局(車載)	江田島本部 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		"(車載)	江田島本部 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		"(車載)	江田島団本部 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		"(可搬)	江田島可搬局 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		"(卓上)	江田島統制	5W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		陸上移動局(携帯)	江田島 101	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		"(携帯)	江田島 102	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		"(携帯)	江田島 103	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		江田島消防署		陸上移動局(車載)	江田島指揮 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
"(車載)	鷺部 1			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部 2			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部 3			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部救助 1			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部救急 1			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部救急 2			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部救急 3			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部輸送 1			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
"(車載)	鷺部たんく 1			10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
陸上移動局(携帯)	江田島 104			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 105			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 201			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 202			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 203			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 204			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 205			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 206			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 207			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 208			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 209			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 210			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 211			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 212			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 213			2W	日立	●	●	●	●	●	●		
能美出張所				陸場移動局(車載)	鹿川 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
				"(車載)	鹿川 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
				"(車載)	鷺部広報 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
				"(車載)	鹿川救急 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
				"(車載)	鹿川救急 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		"(車載)	鹿川化学高所 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●		
		陸上移動局(携帯)	江田島 106	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		"(携帯)	江田島 107	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		"(携帯)	江田島 301	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
		"(携帯)	江田島 302	2W	日立	●	●	●	●	●	●		
"(携帯)	江田島 303	2W	日立	●	●	●	●	●	●				
"(携帯)	江田島 304	2W	日立	●	●	●	●	●	●				
"(携帯)	江田島 305	2W	日立	●	●	●	●	●	●				
"(携帯)	江田島 306	2W	日立	●	●	●	●	●	●				
"(可搬)	江田島可搬局 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●				

無線総局数 50 局 (基地 1 局・車載 20 局・携帯 26 局・可搬局 2 局・卓上固定局 1 局)  
 活動波 1 FH 273.75625MHz, FL 264.75625MHz・活動波 2 FH 274.925MHz, FL 265.925MHz  
 主運用波 1 FH 274.30625MHz, FL 265.30625MHz・統制波 1 FH 274.90625MHz, FL 265.90625MHz  
 統制波 2 FH 274.23125MHz, FL 265.23125MHz・統制波 3 FH 274.53125MHz, FL 265.53125MHz  
 ※主運用波のFLのみ電波形式 5K80G1E

## 【消防団関係】

### 1. 消防団の沿革

#### (1) 旧江田島町消防団の沿革

- 昭和22年12月 消防団令制定により警防団を解散し、江田島第1（10分団）・第2（3分団）消防団を設置する。
- 昭和30年 4月 第1・第2消防団を統合し、江田島町消防団（13分団・定員492名）が発足する。
- 昭和37年 4月 定員492名から390名に減員する。  
13分団から9分団に編成替えする。
- 昭和42年12月 役場職員15名を選抜し、兼務による消防機動隊を編成する。
- 昭和45年 4月 9分団から12分団に編成替えする。
- 昭和47年 4月 定員390名から395名に増員する。
- 昭和49年 3月 消防機動隊を解散する。
- 昭和56年 4月 定員395名から298名に減員する。

#### 【表彰】

- 昭和33年 1月 広島県知事から竿頭綬を受賞
- 昭和34年11月 広島県知事から竿頭金馬簾と表彰状を受賞
- 昭和45年 2月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞
- 昭和58年 2月 日本消防協会長から表彰旗を受賞
- 平成 元年 3月 消防庁長官から竿頭綬を受賞
- 平成 9年 4月 日本消防協会長から表彰状を受賞
- 平成11年 3月 消防庁長官から表彰旗を受賞

#### (2) 旧能美町消防団の沿革

- 昭和22年11月 消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。
- 昭和30年 4月 町村合併（鹿川村、中村、高田村）により、能美町となる。
- 昭和32年 4月 旧3町村消防団が統合し、能美町消防団となる。
- 昭和35年 4月 定員160名を120名に減員する。
- 昭和51年 4月 定員120名を100名に減員する。
- 平成 8年 4月 定員100名を95名に減員する。

#### 【表彰】

- 昭和39年11月 広島県知事から竿頭金馬簾を受賞
- 昭和52年 3月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞

平成 2年 2月 日本消防協会長から表彰旗を受賞

平成 7年 3月 消防庁長官から竿頭綬を受賞

### (3) 旧沖美町消防団の沿革

昭和22年11月 消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。

昭和30年 9月 三高村及び沖村が町村合併により、沖美町となる。

三高消防団4分団定員88名、実員77名

沖消防団4分団定員102名、実員91名

2消防団8分団定員190名、実員168名

昭和35年 7月 三高及び沖消防団を統合し、2分団編成となる。

三高分団 4班 定員47名

沖分団 4班 定員47名

1消防団 2分団 定員94名

#### 【表彰】

昭和58年 9月 広島県知事から竿頭金馬簾を受賞

平成 3年 2月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞

### (4) 旧大柿町消防団の沿革

昭和22年11月 消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。

3分団（大古・大君・柿浦消防団）155名

昭和29年11月 旧大柿町、深江村、飛渡瀬村が合併し大柿町として発足する。

5分団（大古・大君・柿浦・深江・飛渡瀬消防団）270名

昭和35年 1月 町内の消防団を統合し大柿町消防団となる。

5分団（第1分団～第5分団）定員213名

昭和56年 4月 定員213名から188名に減員する。

昭和62年10月 定員188名から163名に減員する。

#### 【表彰】

昭和36年12月 広島県知事から竿頭金馬簾を受賞

昭和46年 2月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞

昭和51年 3月 日本消防協会長から表彰旗を受賞

昭和57年 3月 消防庁長官から竿頭綬を受賞

平成13年 3月 消防庁長官から表彰旗を受賞

## (5) 江田島市消防団の沿革

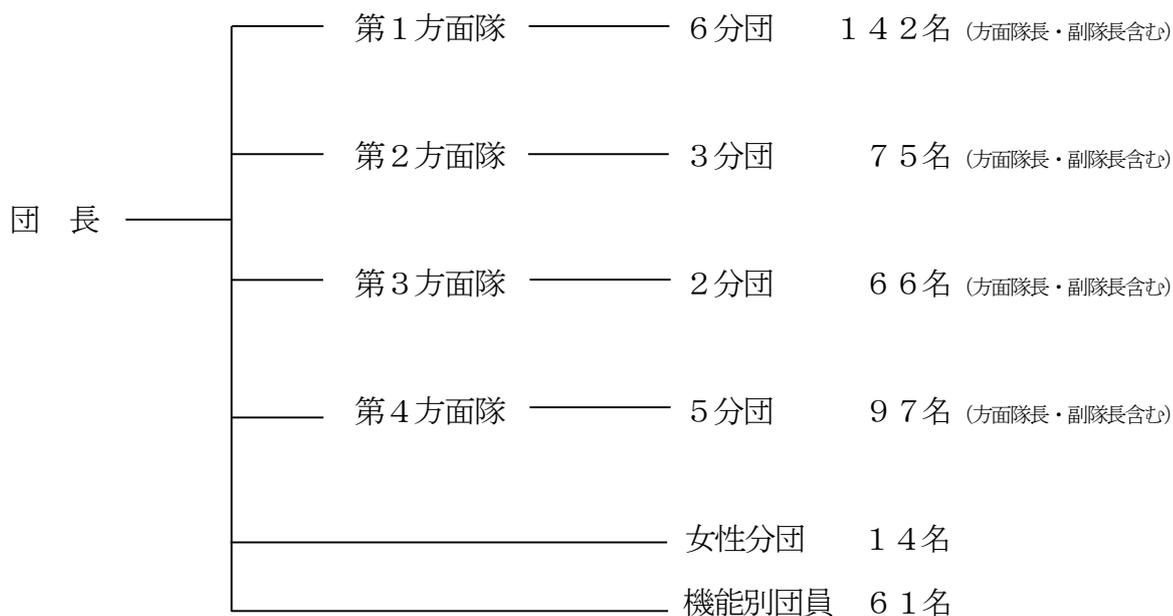
- 平成16年11月 旧江田島町，能美町，沖美町，大柿町が合併して江田島市が発足。消防団も合併して江田島市消防団となる。  
第1方面隊（12分団，定員294名），第2方面隊（3分団，定員92名），  
第3方面隊（2分団，定員92名），第4方面隊（5分団，160名）
- 平成21年 4月 消防団活性化の検討結果に基づき，消防団組織を一部変更。  
定員647名から614名に減員する。  
分団数22分団から16分団に編成替えする。  
団本部（9名）第1方面隊（6分団，定員250名），第2方面隊（3分団，定員100名），第3方面隊（2分団，定員95名），第4方面隊（5分団，160名）
- 平成22年 9月 第1方面隊東分団及び第4方面隊柿浦分団に救助班を設立。
- 平成24年 4月 女性分団発足準備に伴い，消防団組織を一部変更。  
分団数16分団から17分団に編成替えする。  
団本部（9名），第1方面隊（6分団，定員245名），第2方面隊（3分団，定員96名），第3方面隊（2分団，定員89名），第4方面隊（5分団，定員151名），女性分団（1分団，24名）
- 9月 女性分団（12名）発足。
- 10月 第2方面隊鹿川分団及び第3方面隊沖分団に救助班を設立。
- 平成25年12月 江田島市商工会の支援を受け，趣旨に賛同した19事業所の協力により「消防団応援の店」を開始。
- 平成26年 5月 第1方面隊北分団に救助班を増設。
- 平成29年10月 機能別団員制度の創設。（定員614名のうち，93名を機能別団員とする。）
- 平成30年 4月 機能別団員（26名）発足。
- 令和 4年 4月 定員614名から500名に減員する。（基本団員430名，機能別団員70名）
- 令和 5年 3月 第1方面隊北分団大須消防屯所開所。

### 【表彰】

- 平成27年 3月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞
- 平成31年 2月 消防庁長官から防災功労者消防庁長官表彰を受賞
- 平成31年 2月 総務大臣から総務大臣感謝状を受賞

## 2. 江田島市消防団組織図

(令和5年4月1日現在)



## 3. 消防団長・方面隊長

職 名	氏 名	在 職 期 間
江田島市消防団長	畠 正弘	平成31年 4月1日 ~ 現 在
第1方面隊長	宮川 和也	平成29年11月1日 ~ 現 在
第2方面隊長	小倉 秀則	令和 5年 4月1日 ~ 現 在
第3方面隊長	槌家 昌則	令和 3年 4月1日 ~ 現 在
第4方面隊長	川端 睦夫	令和 3年 4月1日 ~ 現 在

4. 階級別団員数 (機能別団員含む)

(令和5年4月1日現在)

区 分	総 数	階 級 別							
		団長	隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団 員
総 数	456	1	4	4	17	18	52	100	260
団 本 部	9	1	4	4					
女性分団	14				1	1	1	3	8
第1方面隊	163				6	7	19	39	92
第2方面隊	83				3	3	9	18	50
第3方面隊	73				2	2	8	14	47
第4方面隊	114				5	5	15	26	63

5. 消防団員退職・新任状況

(令和4年中)

退職団員数	自己都合	定年等	傷 病			死 亡			整理統合
			計	公務	その他	計	公務	その他	
25	12	12				1		1	
	在 職 年 数								
	5年未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30年以上		
		1		1		3	20		
新任団員数	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳以上		
11		2	1	1	1	1	5		

## 6. 基本団員の在職年数（機能別団員除く）

（令和5年4月1日現在）

分団別	区分	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
			本部	9					
女性分団	14	6	4	4					
第1方面隊	中央第一分団	16	2	3	2	3	2		4
	中央第二分団	15	2	7		1	1	3	1
	南分団	27	5	5	8	2	4	1	2
	東分団	20	2	4	5	2	1	3	3
	北分団	35	5	10	6	6	4	1	3
	西分団	27	5	5	5	6	3		3
第2方面隊	鹿川分団	26	1	8	4	3	5	4	1
	中町分団	31	4	6	4	2	5	6	4
	高田分団	16	1	3	5	2	3		2
第3方面隊	沖分団	27	8	6	2	6	3	1	1
	三高分団	37	7	12	9	3	3	3	
第4方面隊	深江分団	10	3	1				1	5
	大古分団	22	4	4	4	2	2	3	3
	大君分団	18	3	8	1	2	2	1	1
	柿浦分団	14	1	5	5		1		2
	飛渡瀬分団	31	7	9	4	9		2	
総数	395	66	100	68	49	39	29	44	

## 7. 団員の年齢構成

(令和5年4月1日現在)

年齢別	区分	計	うち 女性 消防 団員	団 長	隊 長	副 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 ( ) は機 能別 団員
18～24歳		7								1	6
25～29歳		15								4	11
30～34歳		21									21
35～39歳		40	1							12	28
40～44歳		68	3				1		5	21	41
45～49歳		69(1)	1					2	7	18	41(1)
50～54歳		61(2)	4			1	1	4	15	12	26(2)
55～59歳		48	1				8	3	8	16	13
60～64歳		69(8)	4				7	9	17	16	12(8)
65歳以上		58(50)		1	4	3					(50)
総 数		456(61)	14	1	4	4	17	18	52	100	199(61)

## 8. 消防団の定員と報酬

	計	団 長	隊 長	副隊長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	団 員 (機能別)
定 員	500	1	4	4	17	19	57	107	221	70
実 員	456	1	4	4	17	18	52	100	199	61
報酬 (年額)		82,500	69,000	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	
出動報酬		災害出動 1日につき 8,000円 (4時間未満) 4,000円 その他の出動 1日につき 2,400円								